

名和中学校トイレ改修工事設計業務委託



株式
会社

平 設 計

[illegible]

[illegible]

3		3	アスファルト防水 [3. 1. 4] [3. 2. 6] [3. 3. 2 ~ 3]	・乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したものの 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 (品質・性能) <table><tr><th>分類・規格</th><th>・窯業系 パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th><th>・窯業系 パネルⅡ類 (一般地仕様)</th><th>・金属複合板</th></tr><tr><td>寸法(mm)</td><td>厚さ(mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>幅(mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>寸法の許容差</td><td colspan="3">厚さ：+10%、-5%、幅：±1%</td></tr><tr><td>出荷時の含水率</td><td colspan="3">出荷時において10%以下</td></tr><tr><td>曲げ強さ・曲げモメント</td><td>標準時</td><td>550以上</td><td>450以上</td></tr><tr><td>(N・cm) (2N×50cm)における単位幅1cmあたりの曲げモメント</td><td>凍結融解完了時</td><td>400以上</td><td>320以上</td></tr><tr><td></td><td>(試験サイクル数)</td><td>(300)</td><td>(200)</td></tr><tr><td>吸水率(%)</td><td>20以下</td><td>20以下</td><td>1以下</td></tr><tr><td>吸水による長さ変化率(%)</td><td>0.07以下</td><td>0.07以下</td><td>0.01以下</td></tr><tr><td>耐燃性</td><td>不燃</td><td>不燃</td><td>表面材は不燃</td></tr><tr><td>耐凍結融解性能</td><td colspan="3">曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td></tr><tr><td>耐衝撃性能</td><td colspan="3">質量500g(窯業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の隅点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 質量500g(窯業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の隅点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 残留変形量1/100以下 かつ加圧時の最大変形量4/100以下</td></tr><tr><td>剛性(E×I)スパン40cm 幅30cmの中央曲げ時に、 荷重720Nの時、たわみ 4mm以下となる剛性</td><td>-</td><td>-</td><td>80000N・cm以上</td></tr></table> (試験方法) (1) 寸法の試験方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めて平均の厚さとする。 (2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築物用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。測定項目については、100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) (3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 (4) 耐燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の耐燃性試験方法」に準じて行う。 (5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40 mm×長さ160 mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJISK 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の縦線間隔が140 mmになるように標線を刻む。その後、1/150 mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこば立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。48時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び縦線間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。 ΔL(%)=(L2-L1)/L1×100 ΔL：吸水による長さ変化率(%) L1：乾燥時の縦線間の長さ(mm) L2：吸水時の縦線間の長さ(mm) (6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。 (窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) -20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。 (7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築物用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。 試験体の大きさは、4号(長さ400 mm、幅300 mm)とする。おもりは記号(W1→1000又はW2→500)とする。金属複合板の残留変形量は、最大1/60深さを測定する。	分類・規格	・窯業系 パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	・窯業系 パネルⅡ類 (一般地仕様)	・金属複合板	寸法(mm)	厚さ(mm)				幅(mm)			寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%			出荷時の含水率	出荷時において10%以下			曲げ強さ・曲げモメント	標準時	550以上	450以上	(N・cm) (2N×50cm)における単位幅1cmあたりの曲げモメント	凍結融解完了時	400以上	320以上		(試験サイクル数)	(300)	(200)	吸水率(%)	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下	耐燃性	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍結融解性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと			耐衝撃性能	質量500g(窯業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の隅点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 質量500g(窯業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の隅点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 残留変形量1/100以下 かつ加圧時の最大変形量4/100以下			剛性(E×I)スパン40cm 幅30cmの中央曲げ時に、 荷重720Nの時、たわみ 4mm以下となる剛性	-	-	80000N・cm以上
分類・規格	・窯業系 パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	・窯業系 パネルⅡ類 (一般地仕様)	・金属複合板																																																									
寸法(mm)	厚さ(mm)																																																											
	幅(mm)																																																											
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%																																																											
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																											
曲げ強さ・曲げモメント	標準時	550以上	450以上																																																									
(N・cm) (2N×50cm)における単位幅1cmあたりの曲げモメント	凍結融解完了時	400以上	320以上																																																									
	(試験サイクル数)	(300)	(200)																																																									
吸水率(%)	20以下	20以下	1以下																																																									
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																									
耐燃性	不燃	不燃	表面材は不燃																																																									
耐凍結融解性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																											
耐衝撃性能	質量500g(窯業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の隅点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 質量500g(窯業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の隅点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 残留変形量1/100以下 かつ加圧時の最大変形量4/100以下																																																											
剛性(E×I)スパン40cm 幅30cmの中央曲げ時に、 荷重720Nの時、たわみ 4mm以下となる剛性	-	-	80000N・cm以上																																																									
屋根露出防水 防水層の種類		<table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材[G]</th><th>仕上塗材</th><th>高日射反射率の防水の適用[G]</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">・M4C</td><td>・C-1</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">・製造所の指定による</td><td rowspan="4">・製造所の指定による</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>※C-2</td></tr><tr><td>・C-3</td></tr><tr><td>・C-4</td></tr><tr><td rowspan="4">・M3D ・POD</td><td>・D-1</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">・製造所の指定による</td><td rowspan="4">・製造所の指定による</td><td rowspan="4">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>※D-2</td></tr><tr><td>・D-3</td></tr><tr><td>・D-4</td></tr><tr><td rowspan="2">・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td><td>・D1-1 ※D1-2</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ポリウレタン保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)：25mm</td><td rowspan="2">・製造所の指定による</td><td rowspan="2">・製造所の指定による</td><td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない</td></tr></table> 脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンド回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示		工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗材	高日射反射率の防水の適用[G]	備考	・M4C	・C-1			・製造所の指定による	・製造所の指定による		※C-2	・C-3	・C-4	・M3D ・POD	・D-1			・製造所の指定による	・製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない	※D-2	・D-3	・D-4	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2		(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ポリウレタン保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)：25mm	・製造所の指定による	・製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない																							
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗材	高日射反射率の防水の適用[G]	備考																																																						
・M4C	・C-1			・製造所の指定による	・製造所の指定による																																																							
	※C-2																																																											
	・C-3																																																											
	・C-4																																																											
・M3D ・POD	・D-1			・製造所の指定による	・製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない																																																						
	※D-2																																																											
	・D-3																																																											
	・D-4																																																											
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2		(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ポリウレタン保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)：25mm	・製造所の指定による	・製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない																																																						
	屋内防水						<table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工場所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1 ※E-2</td><td></td><td>保護層 ・設ける ・設けない</td></tr></table> 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 屋上排水溝：図示		工法	種別	施工場所	備考	・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2		保護層 ・設ける ・設けない																																												
工法	種別	施工場所	備考																																																									
・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2		保護層 ・設ける ・設けない																																																									

 4 | 改質アスファルトシート 防水 | | 防水層の種類 | | | | | | | |----------------------------|--------------------|------|---|-------------|-----------------|---| | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 断熱材[G] | 仕上塗料 | 高日射反射率の防水の適用[G] | 備考 | | ・M4S | ・AS-T1 | | | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない
改修用D1
・設ける
・設けない | | | ・AS-T2 | | | | | | | | ・AS-J3 | | | | | | | | | | | | | | | ・M3AS
・POAS | ・AS-T3 | | | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない
改修用D1
・設ける
・設けない | | | ・AS-T4 | | | | | | | | ・AS-J2 | | | | | | | | ・AS-J4 | | | | | | | ・M3AS1
・M4AS1
・POAS1 | ・AS1-T1
・AS1-J1 | | (材質)
※JIS A 9511によるA種硬質ポリウレタン保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの
(厚さ)：25mm | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない
改修用D1
・設ける
・設けない | 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定による 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による || 5 | | 合成高分子系 ルーフィングシート 防水 [3. 1. 4] [3. 2. 6] [3. 5. 2 ~ 4] | | 防水層の種類 | | | | | | | |-----------------------------------|--|------|--|-------------|-----------------|---| | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 断熱材[G] | 仕上塗料 | 高日射反射率の防水の適用[G] | 備考 | | ・POS
・S4S | ・S-F1 | | | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない
改修用D1
・設ける
・設けない | | | ・S-F2 | | | | | | | | ・S-M1 | | | | | | | | ・S-M2 | | | | | | | ・M3S | ・S-F1
・S-F2 | | | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない | | | | | | | | | | ・M4S | ・S-M1
・S-M2
・S-M3 | | | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない
改修用D1
・設ける
・設けない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ・POSS1
・SSS1
・S4S1
・M4S1 | ・SI-F1
・SI-F2 | | (材質)
※JIS A 9511によるA種硬質ポリウレタン保温材の密度及び熱伝導率の規格3種bに適合するもの
(厚さ)：25mm | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない
改修用D1
・設ける
・設けない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ・SI-M1
・SI-M2 | (材質)
※JIS A 9511によるA種硬質ポリウレタン保温材の密度及び熱伝導率の規格3種bに適合するもの
(厚さ)：25mm | | | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない
改修用D1
・設ける
・設けない | ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.2による 絶縁用シート の材質 ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による 既存防水下地がPCコンクリート部材の場合の処理 目地処理 ・行う(工法) ・行わない 入隅部の増張り ・行う(S-F1, SI-F1の場合) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1)・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない |
| 6 | | 塗膜防水 [3. 1. 4] [3. 2. 6] [3. 6. 2 ~ 4] | | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上塗材 | 高日射反射率の防水の適用[G] | 備考 | |------|--------------|------|-------------|-----------------|--| | ・POX | ※X-1
・X-2 | | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
改修用D1
・設ける
・設けない | | | | | | | | | ・L4X | ※X-1
・X-2 | | ・好-
・好N- | | 脱気装置
・設ける
・設けない | | | | | | | | | ・P1Y | ※Y-2 | | | | 保護層
・設ける
・設けない | | | | | | | | | ・P2Y | ※Y-2 | | | | 保護層
・設ける
・設けない | | | | | | | | 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材製造所の指定による |
| 7 | | ケイ酸系塗布防水 (9. 6. 1 ~ 4) | 防水種別 ※C-U・C-UP 規格 ※JASS8 T-301 施工箇所 記載のない事項は製造所の仕様による他日本建築学会JASS8 防水工事 最新版による |
 8 | シーリング [3. 1. 4] [3. 7. 2] [3. 7. 4 ~ 7] | シーリング改修工法の種類 ・シーリング充てん工法 ・シーリング再充てん工法 ・拡幅シーリング再充てん工法 ・ブリッジ工法 ボンドブリーカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1による | シーリング材の種類(記号) | | |---------------|--| | 施工箇所 | | | | | | | | | | | シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書 3.7.3(a)(1)~(3)による | | | |------------------------------------|---------------| | 接着性試験 ※行う(※簡易接着性試験 ・引張接着性試験) ・行わない | 試験箇所(※外部 ・内部) | |------------------------------------|---------------| この材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ルーフトレンドレ | 種別 | 施工箇所 | |-----------|------| | ・ろく屋根用 | | | ・バルコニー用 | | | ・バルコニー中継用 | | ロックウール保温間及びフェノールフォーム保温間のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 既存のその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 鋼管製の防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.5による たてどい受金物の取付け ※図示 ルーフトレンドレの取付け ※水はけがよ、床面より下げ、周囲の隙間をモルタルを充填 || 9 | シーリング材の試験 [3. 7. 8] | 10 | とい [3. 8. 2] | 11 | アルミニウム製笠木 [3. 9. 2 ~ 3] |
 4 | エポキシ樹脂モルタル [4. 2. 2] | 5 | ポリマーセメント スラリー [4. 2. 2] | 6 | 吸水調整材 [4. 2. 2] | 7 | 既製調合モルタル [4. 2. 2] | 8 | 試験方法 イ) 曲げ試験以外は「JIS A 6024「建築補修用注入エポキシ樹脂」の6.試験方法による。 ロ) 曲げ試験 1. 6.1 b)の試料を標準寸法の金型(長さ80.0±2.0mm、幅10.0±0.2mm、厚さ4.0±0.2mm)に充填し、6.1の試験室の状態で7日間養生後、脱型したもの。 2. 試験方法は、JIS K 7171「プラスチック-曲げ特性の求め方」による。 3. 曲げ強さは、次の式によって計算する。 $$\sigma_b = \frac{3PL}{2bh^3}$$ σb：曲げ強さ(MPa) P：最大荷重(N) L：支点間距離(mm) b：試験片の幅(mm) h：試験片の厚さ(mm) 4. 試験の回数 各試験 3回 | 品質性能等 接着強さ：1.0N/mm²以上 圧縮強さ：20.0N/mm²以上 曲げ強さ：3日後の値 1.0N/mm²以上 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)形状に異常がなく、だれが生じないこと。 5)常温・常湿(温度5~35℃、湿度45~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 試験方法 イ) 試験室の状態：温度23±2℃、湿度50±5%を標準状態とする。 ロ) 試験体個数：3個 ハ) 試料の調整：標準状態で試験室に保管した主剤及び硬化剤を製造所の定める割合で採取し、十分に攪拌する。 ニ) 外観・ハ)の試料を清浄なガラス板に均一に塗布し、均質性と異物の混入の有無を観察。 ホ) 圧縮強さ：JIS K 5201「セメントの物理試験方法」の10.4により試験体を作成し、10.1(4)に規定する試験機で10.9により測定し、10.6により求める。 ヘ) 曲げ強さ：JIS K 5201「セメントの物理試験方法」の10.4に準じ試験体を作成する。 10.1(5)に規定する試験機により、支点間100mmとし、供試体を成形したときの側面の中央に毎秒50 N/sの割合で 載荷し最大荷重 P (N) を求め、 $P \times 0.00234 = \sigma_b$ の式で求める。 ト) 比重・曲げ試験体の寸法と重量を測定して求める。 チ) 接着強さ：JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面を清浄し、その上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付け、機械的引張りを加える。最大荷重(P)を新固着(A)で検出する。 テ) だれ試験：JIS A 5371の 附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面を清浄して、その上に厚さ30mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にエポキシ樹脂モルタルを塗布し、塗付け開始から5分後に、平らに置かれた平板を直角に立て脱し、そのままの状態で静置する。24時間後のエポキシ樹脂モルタルの変形状態を観測し、その形状の異常の有無とだれ長さを測定する。 | 品質性能等 注入試験：塗りが速さ3cm/s以上、粘弾係数0.5~1.0 保水試験：保水係数0.35~0.5 長さ変化試験：長さ変化率3%以下(乾燥) 引張接着強さ：0.5N/mm²以上(28日材齢) 曲げ強度：5.0N/mm²以上(28日材齢) 吸水率：1.5%以下(72時間) 劣化曲げ強さ：5.0N/mm²以上 表4.2.2による | 表4.2.2による | モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、湿和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質性能等 保水率：70%以上 単位容積質量：1.8kg/L以上 接着強さ：標準時 0.6N/mm²以上、湿冷後 0.4N/mm²以上 長さ変化率：0.2%以下 曲げ強さ：4.0N/mm²以上 試験方法 イ) 試料の調整 製造業者の定める、正確質量と標準練り上り量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばらに留意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 ロ) 保水率 JIS R 3202「フロー-板ガラス及び磁器板ガラス」に規定するみがきガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5Aろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リングを置く(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰込む。 その後、直ちにリングを上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さsをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式より保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50：リング型 々の内径 mm ハ) 単位容積質量 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 ニ) 標準時の接着強さ 1. 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンダーペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付け、直ちにJIS A 5209「陶磁器質タイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1類(貼ゆう)「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.9.7接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm²以上) 2. 適用タイルが「小口タイル-二掛付けタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンダーペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付け、直ちに JIS A 5209「陶磁器質タイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1類(貼ゆう)「小口タイル100mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 | TITLE 名和中学校トイレ改修工事設計業務委託 | NAME 改修工事特記仕様書(2) | SCALE — | 株式 平 設計 一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平 | | DATE | CHECK | DRAWING | NO. A-02 |

[illegible]

10その他

19トイレブース
(20.2.5)

(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性

項目	品質・性能	
メラミン樹脂系化粧板	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかき性
板及びメラミン樹脂	JIS K 6902「熱硬化性樹脂高圧化」	—
系 単一材	板板試験方法」15.2.3法の表8に示された耐汚染性のうち材料番号3を	開閉耐久性 JIS A 4702「ドアセット」9.4開閉繰り 返し試験によるスイングドア（開閉回数10万回）を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に破損のないこと。
	7.8.9.10.17.の試験結果の判定は、「変化なし」であるものとする。また、材料番号1.2.4.5.11.12.13.14.15.18.は、「変化なし又は軽微な変化」であるものとする。又は、これらと同等以上の性能を有するものであるものとする。	
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。	
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の農林規格」第8条特種加工化粧板に示された耐汚染性試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の農林規格」第8条特種加工化粧板に示された耐引っかき性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。
ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。	
ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5906「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。	

(試験方法)
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法～第2部：ドア用金物」に規定する試験による。
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。

材質	形式	用途	適用荷重	寸法 と 寸 法	重量 めつき (付着量)	上面形状
・鋼製 ・ホルムふた	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目 ・ ・普通目 ・細目	・ () ・ ()	・凹凸形 ・ ・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	— ・ —	— —	・凹凸形 ・ ・平形 ・

(品質・性能等)
<鋼製グレーチング>以下のもの又は同等のものとする

項目	品質・性能
メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101 S5400 メインバーピッチ 普通目：30mm～35.3mm程度 細目：12.5mm～15mm程度
クロスバー	JIS G 3101 S5400及びJIS G 3505「軟鋼棒材」SW6W
受け枠用アングル材	JIS G 3101 S5400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼板」SPH
溶融亜鉛めっきの付着量	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHD240以上又は、HDZ 50以上
受け枠用アングル材	塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料
アンカー	開閉 側溝の場合50mm内外
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする

<ステンレス製グレーチング>

項目	品質・性能
メインバー、クロスバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318のSUS304又はJIS G 4303、JIS G 4305のSUS430JIL
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4318、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430JIL
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430JIL
アンカー	JIS G 3101 S5400 開閉 側溝の場合50mm内外
溶融亜鉛めっきの付着量	25程度
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする

(荷重試験方法)
設計荷重は以下の通りとする

歩道区分	荷重 種別	側溝用 (KN)	横断溝用 (KN)	加圧面積 (cm)
車道	T-20	78.5	109.8	20×50
	T-14	54.9	76.9	20×50
	T-6	23.5	33.0	20×24
	T-2	7.8	11.0	20×16
歩道	4,900N/m ² の等分布荷重			

試験体は、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。
イ) 溝ふた 横断用 T-20～T-2のうち1体
歩道用 のうち1体
側溝用 T-20～T-2のうち1体
ロ) U字溝用 側溝用 T-20～T-2のうち1体
歩道用 のうち1体
設計荷重を基準として一方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4,900N/sとする。繰り返し加力は3回行った後、残置ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。

TITLE名和中学校トイレ改修工事設計業務委託

NAME改修工事特記仕様書（7）

SCALE—

株式会社平設計

一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平

DATE

CHECK

DRAWING

NO. A-07 /

8

耐震改修工事（共通事項）

1

適用範囲

・改修標準仕様書第3章耐震改修工事

・改修標準仕様書第3章耐震改修工事以外の工事で第3章を引用している部分

工事内容

・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事

・鉄骨ブレースの設置工事

・柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）

・柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き工法）

・柱補強工事（連続繊維補強工法）

・耐震スリット新設工事

・免震改修工事

・制振改修工事

2

既存部分の撤去等

〔8. 1. 9. 2〕

〔8. 2. 0. 2〕

〔8. 2. 1. 2〕

〔8. 2. 2. 2〕

〔8. 2. 3. 3～4〕

3

既存部分の処理

〔8. 1. 9. 3〕

〔8. 2. 0. 3〕

〔8. 2. 1. 3〕

8

鉄筋工事

8

1

鉄筋の種類

〔8. 2. 1〕

規格の名称

種類の記号

使用箇所

呼び径 (mm)

備考

典型鉄筋

鉄筋コンクリート（用棒筋）

※SD295A

※SD345

※D16以下

※D19以上

2

溶接金網

〔8. 2. 2〕

3

鉄筋の継手

〔8. 3. 4〕

4

鉄筋の定着長さ

〔8. 3. 4〕

5

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む）

〔8. 3. 5〕

6

特殊な鉄筋継手

7

圧接完了後の試験

〔8. 3. 8〕

8

既存構造物との取合い

〔8. 1. 9. 6〕

〔8. 2. 0. 7〕

8

2

コンクリートの種類及び強度

〔8. 1. 3～4〕

8

1

コンクリートの種類及び強度

〔8. 1. 3～4〕

8

2

レディーミクストコンクリート

〔8. 1. 3〕

3

セメントの種類

〔8. 2. 5〕

4

骨材の種類

〔8. 2. 5〕

5

混和材料

〔8. 2. 5〕

6

無筋コンクリート

〔6. 14. 1～3〕

7

ひび割れ誘発目地

打継目地

〔6. 6. 3〕

〔6. 8. 2〕

8

コンクリートの仕上り

〔8. 1. 4〕

〔8. 2. 7〕

9

打増し厚さ

〔6. 8. 2〕

10

型枠

〔6. 8. 3〕

〔8. 2. 7〕

11

型枠の加工及び部位

〔8. 7. 8〕

12

コンクリートの打込み工法等

〔8. 19. 8〕

〔8. 21. 5〕

8

3

鉄骨工事

1

鉄骨の製作工場

〔8. 1. 6〕

〔7. 1. 1〕

2

施工管理技術者

〔8. 1. 5〕

3

鋼材

〔8. 2. 8〕

4

高力ボルト

〔8. 1. 6〕

〔8. 2. 9〕

〔8. 13. 2〕

5

溶融亜鉛めっき高力ボルト

〔8. 1. 6〕

〔8. 2. 9〕

〔8. 12. 7〕

〔7. 12. 4〕

6

普通ボルト

〔7. 2. 3〕

7

アンカーボルト

〔7. 2. 4〕

〔7. 10. 3〕

8

4

溶接材料

〔7. 2. 5〕

9

ターンバックル

〔7. 2. 6〕

10

デッキプレート

〔7. 2. 7〕

11

スタッドボルト

12

柱底均しモルタル

〔8. 2. 11〕

13

製作精度

〔8. 12. 2〕

14

仮組

〔8. 12. 9〕

15

高力ボルト接合

16

溶接接合

〔8. 14. 4〕

〔8. 14. 7〕

17

入熱バス間温度の溶接条件

18

溶接部の試験

〔8. 14. 11〕

19

耐火被覆

〔8. 17. 2〕

8

5

溶接材料

〔7. 2. 5(a)(b)による

・図示による

種類

建築用ターンバックル鋼

※割替式

建築用ターンバックルボルト

※羽子板ボルト

ねじの呼び

※構造図による

工法の種類

・合成スラブ（適用箇所・構造図による）

・床型枠用（適用箇所・構造図による）

材質、形状及び寸法

・構造図による

鉄骨部材への溶接方法

・構造図による

耐火認定

・有り（耐火時間・図示による）

・なし

※鋼材付スタッド〔JIS B1198〕

径 (呼び名)

長さ (呼び長さ) mm

使用箇所

16φ

・80・100・120

19φ

・80・100・130・150

22φ

・80・100・130・150

モルタルの種類

・無収縮モルタル

無収縮モルタルの材料及び割合

※改修標準仕様書8. 2. 11による

・改修標準仕様書8. 12. 2による

通しダイヤフラムの許容誤差

・ダイヤフラムをH12建第146号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り

補強方法

・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による

・全てのダイヤフラムはH12建第146号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること

※行わない

・行う（適用範囲・構造図による）

・

・

スプライスプレートの材質

※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする

フィラープレートの材質

※SS400とする

隅先の形状

※構造関係共通事項(5)

3. 溶接継手の種類別関係基準

による

スカラップの形状

※構造関係共通事項(6)

5. 鉄骨溶接施工(3)

による

鋼製エンドタブの切除する部分

※全て

・()

完全溶込み溶接部の余盛り高さ

※(社)日本建築学会「JASS 6鉄骨工事」

付則6〔鉄骨精度検査基準〕付表3〔溶接〕による

エンドタブ・裏あて金

※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件

※構造関係共通事項による

・図示

適用箇所

・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

・図示による

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

※行う

・行わない

工場溶接の場合

AOQL

※4. 0%

・2. 5%

部

※全て

検査水準

※第6水準

工事現場溶接の場合

AOQL

※4. 0%

・2. 5%

割れの延いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う

突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査

独立行政法人建築研究所監修

・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による

・抜き取り検査 1

※抜き取り検査2

種類

種類

材料・工法

適用箇所(部位・部分)

・耐火材吹付け

・乾式吹付けロックウール

・半乾式吹付けロックウール

・湿式ロックウール

・耐火板張り

・繊維遮入いけカルシウム板

・耐火材巻付け

・高耐熱ロックウール

ラス張り工法による

―

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性能

適用箇所(部位・部分)

・30分耐火

・1時間耐火

・2時間耐火

・3時間耐火

※(社)日本建築学会「JASS 6鉄骨工事」付則6〔鉄骨精度検査基準〕

付表〔工事現場〕による

構造用アンカーフレームの形状及び寸法

・図示による

建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法

表7. 10. 1

種類・A種・B種・C種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類

表7. 10. 2

※標準仕様書 表7. 10. 2 (※A種〔モルタル厚さ50〕・B種〔モルタル厚さ30〕) による

22

鎖止め塗装

〔8. 16. 3〕

塗料の種類

亜鉛めっき鋼面の鎖止め塗料

※標準仕様書 表18. 3. 2のA種

・E-P-Gの適用箇所は標準仕様書 表18. 3. 2のC種

耐火被覆材の接着する面への塗装

・行う

適用箇所

※構造図による

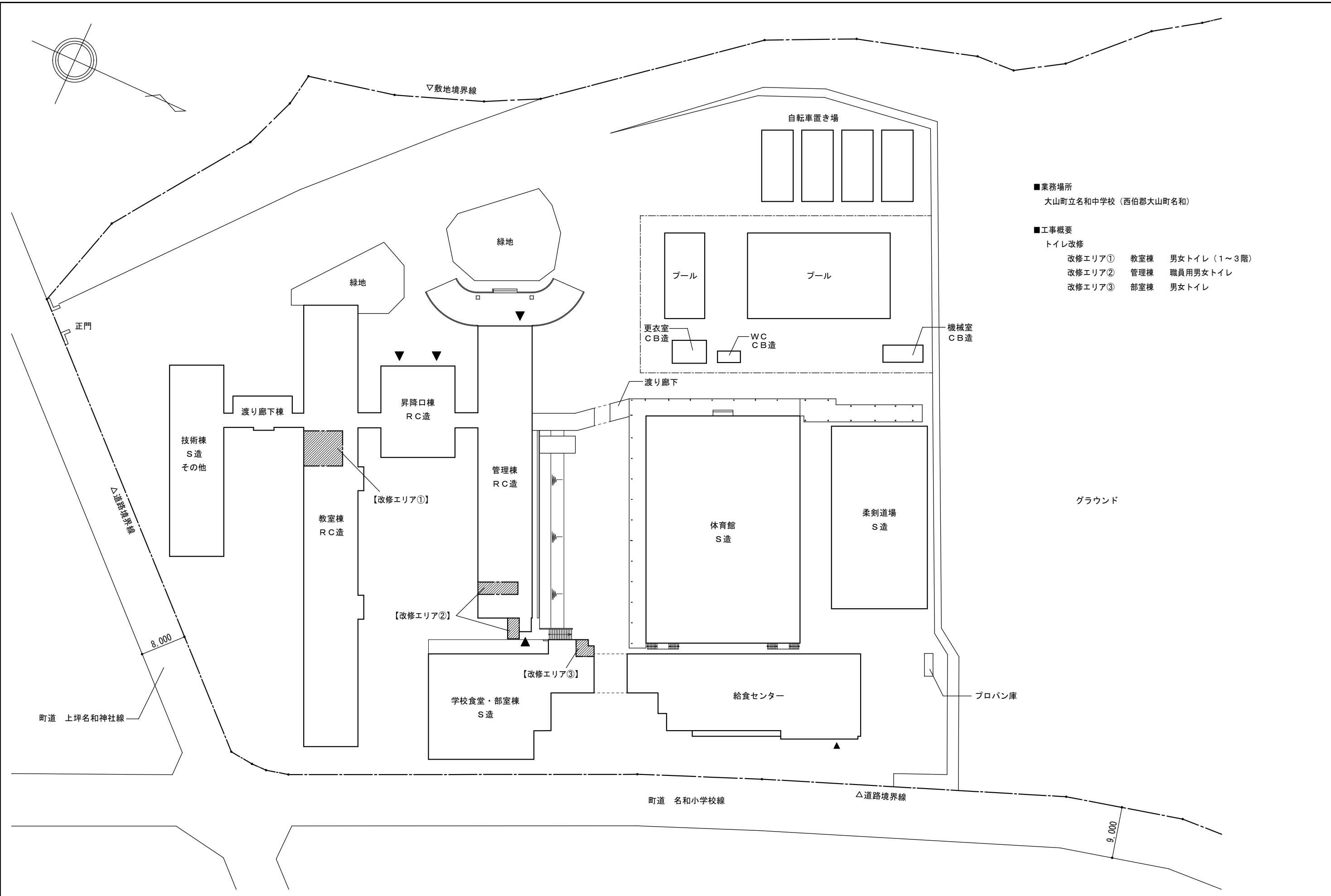
塗装の種類

※構造図による

※行わない

23

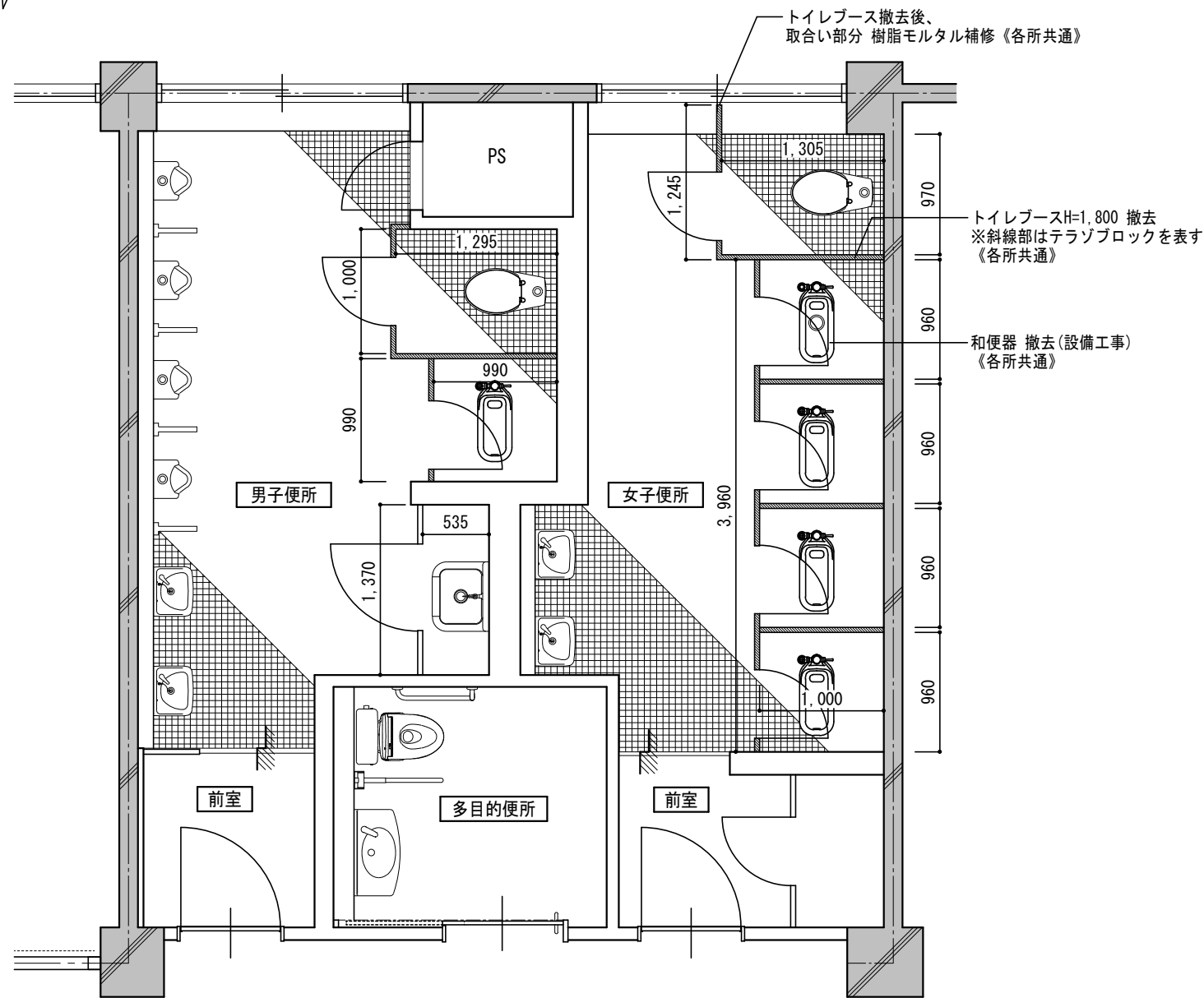
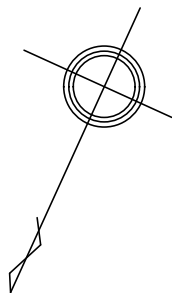
溶融亜鉛めっき工法



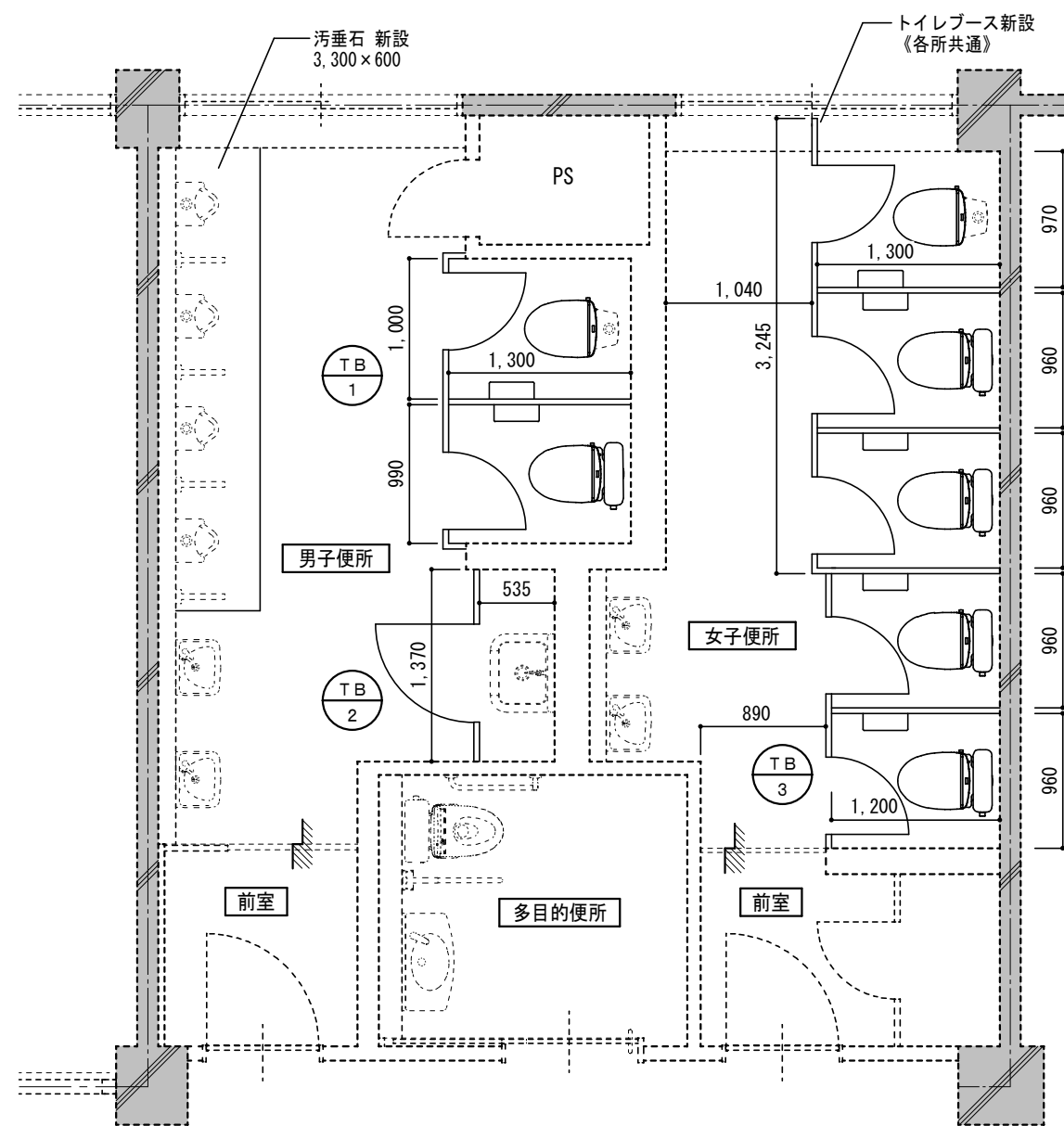
- 業務場所
大山町立名和中学校（西伯郡大山町名和）
- 工事概要
トイレ改修
改修エリア① 教室棟 男女トイレ（1～3階）
改修エリア② 管理棟 職員用男女トイレ
改修エリア③ 部室棟 男女トイレ

TITLE 名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	NAME 配置図	SCALE 1/600		株式会社 平設計 一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平	DATE	CHECK	DRAWING	NO. A-09 /

室名	床		巾木	壁		天井		廻縁	天井高	備考		
	下地	仕上		下地	仕上	下地	仕上					
教室棟 男子便所 (1階)	既存モザイクタイルの上、 樹脂モルタル コテ塗り (1回目:ゴムコテ 2回目:金コテ)	長尺塩ビシート 厚2.0貼 一部 汚垂石貼	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200 ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	2,580	便座クリーナー(各個室 1ヶ所ずつ)		
教室棟 男子便所 前室(1階)	既存のまま	既存のまま (長尺塩ビシート)	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	塩ビ製	2,480			
教室棟 女子便所 (1階)	既存モザイクタイルの上、 樹脂モルタル コテ塗り (1回目:ゴムコテ 2回目:金コテ)	長尺塩ビシート 厚2.0貼	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200 ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	2,580	便座クリーナー(各個室 1ヶ所ずつ)		
教室棟 女子便所 前室(1階)	既存のまま	既存のまま (長尺塩ビシート)	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	塩ビ製	2,480			
教室棟 男子便所 (2・3階)	既存モザイクタイルの上、 樹脂モルタル コテ塗り (1回目:ゴムコテ 2回目:金コテ)	長尺塩ビシート 厚2.0貼 一部 汚垂石貼	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200 ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	2,580	掃除用具入れ(内部:枕棚D=300、SUSハンガーパイプ) 便座クリーナー(各個室 1ヶ所ずつ)		
教室棟 男子便所 前室(2・3階)	既存モザイクタイルの上、 樹脂モルタル コテ塗り (1回目:ゴムコテ 2回目:金コテ)	長尺塩ビシート 厚2.0貼	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200 ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	3,100			
教室棟 女子便所 (2・3階)	既存モザイクタイルの上、 樹脂モルタル コテ塗り (1回目:ゴムコテ 2回目:金コテ)	長尺塩ビシート 厚2.0貼	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200 ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	2,580	掃除用具入れ(内部:枕棚D=300、SUSハンガーパイプ) 便座クリーナー(各個室 1ヶ所ずつ)		
教室棟 女子便所 前室(2・3階)	既存モザイクタイルの上、 樹脂モルタル コテ塗り (1回目:ゴムコテ 2回目:金コテ)	長尺塩ビシート 厚2.0貼	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200 ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	3,100			
管理棟 職員男子便所	既存モザイクタイルの上、 樹脂モルタル コテ塗り (1回目:ゴムコテ 2回目:金コテ)	長尺塩ビシート 厚2.0貼 一部 汚垂石貼	—	既存のまま	既存のまま(磁器質タイル100角) ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (けい酸カルシウム板)	—	2,300	天井点検口 2カ所 便座クリーナー(各個室 1ヶ所ずつ)		
管理棟 職員男子便所 前室	既存のまま	既存のまま (長尺塩ビシート)	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,200 ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (けい酸カルシウム板)	—	2,380			
管理棟 職員女子便所	既存モザイクタイルの上、 樹脂モルタル コテ塗り (1回目:ゴムコテ 2回目:金コテ)	長尺塩ビシート 厚2.0貼	—	既存のまま	上壁 既存モルタルEP塗装 塗り替え 腰壁 既存のまま(磁器質タイル100角) H=1,100 ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	2,260	天井点検口、便座クリーナー(各個室 1ヶ所ずつ) 棚板(D=150、W=600) 2カ所、SUSフック 2カ所、掃除用具掛けSUSフック 棚受けレール2本、棚板2段(D=250、W=350)		
部室棟 男子便所	既存のまま	既存モザイクタイル 一部貼り替え	—	既存のまま	既存のまま(磁器質タイル100角) ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	2,395	便座クリーナー(各個室 1ヶ所ずつ)		
部室棟 女子便所	既存のまま	既存モザイクタイル 一部貼り替え	—	既存のまま	既存のまま(磁器質タイル100角) ※破損部は補修のこと	既存のまま	既存のまま (化粧石膏ボード)	—	2,395	天井点検口、涙目クッション 便座クリーナー(各個室 1ヶ所ずつ)		
特記事項					参考メーカー		略語		アスベスト含有成形板(みなし建材)			
- 天井点検口はアルミ枠の天井仕上同材とし、特記なき限り450角とする。 - 特記なき限りSUSは 304 とする。 - シックハウス対策として告示対象となる建材は、すべて規制対象外となる建材又はF☆☆☆☆品を使用すること。 - 石綿含有建材は使用しないこと。 - 図面記載寸法は参考寸法とし、施工者の責任において現地確認の上、施工のこと。 - 既存タイルの割れ、浮き その他破損箇所については、撤去の上、貼り替えとする。 - 既存壁のクラック部は、パテ処理の上、EP塗装とする。 - 撤去の際に生じる既存部の破損や撤去跡については、樹脂モルタル、パテ等を用いて適宜補修すること。					- 長尺塩ビシート … T A J I M A 消臭クリンセフ(同等品) - 汚垂石 … T O T O ハイドロセラ・フロアPU(同等品) - トイレブース … C O M A N Y 堅牢仕様パネル(同等品) - 和便器改修 … T O T O 和洋リモデル工法(同等品) - 便座クリーナー … S A R A Y A S C-4 6 0 R(同等品)		EP 合成樹脂エマルションペイント		- 化粧石膏ボード - けい酸カルシウム板			
							EP-G つや有合成樹脂エマルションペイント					
							AEP アクリルエマルションペイント					
							DP 耐候性塗料					
							SOP 合成樹脂調合ペイント					
							SUS ステンレス					
							LGS 軽量鉄骨					
							CB コンクリートブロック					
					その他							
					- 棚板:メラミン化粧板 ポストフォーム加工(コーナー部はR面取り) - トイレ内の棚板は、L型ブラケットにて固定 - 棚受けレール:SUS製							

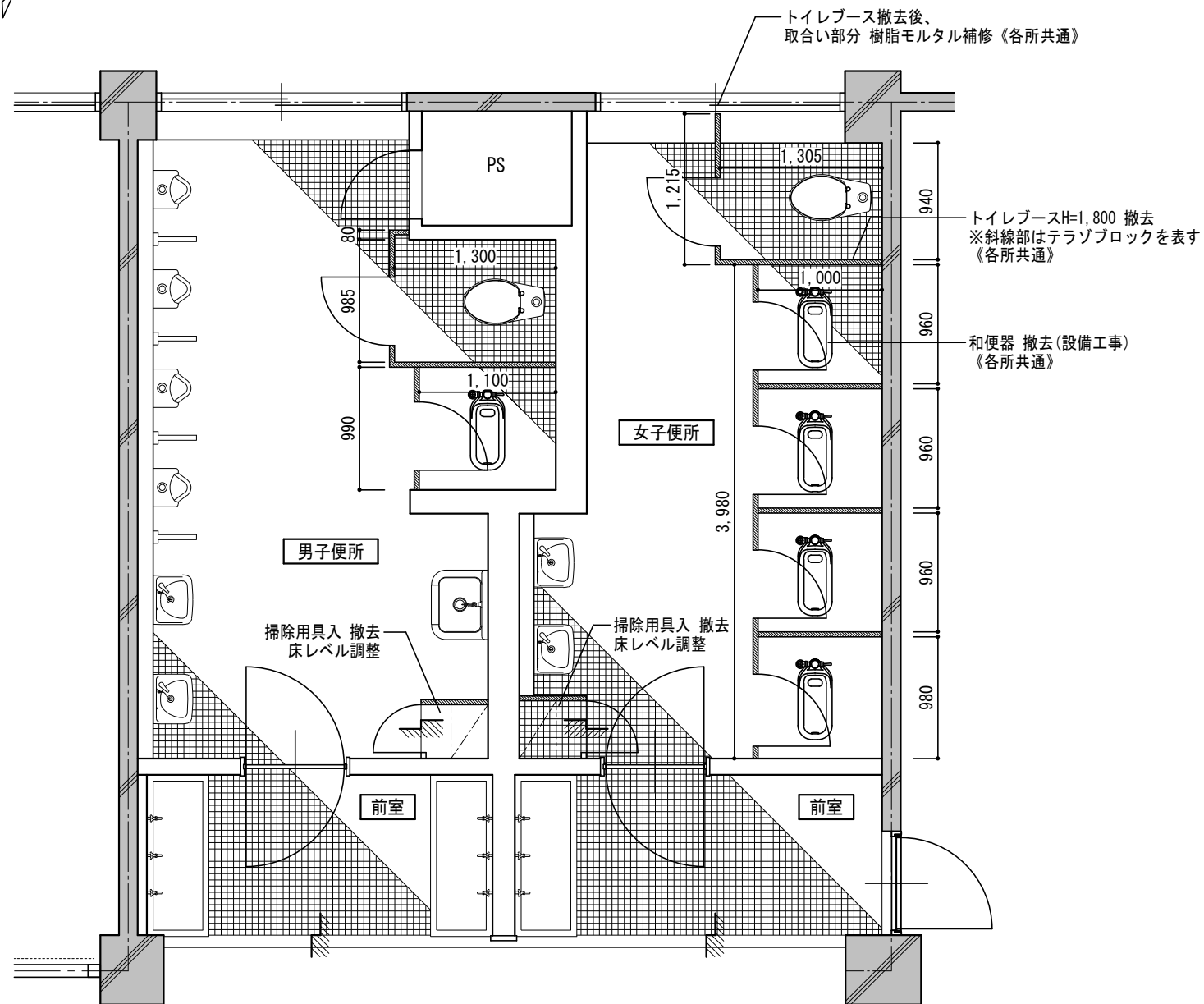
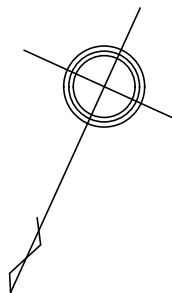


現況平面図 S=1/50

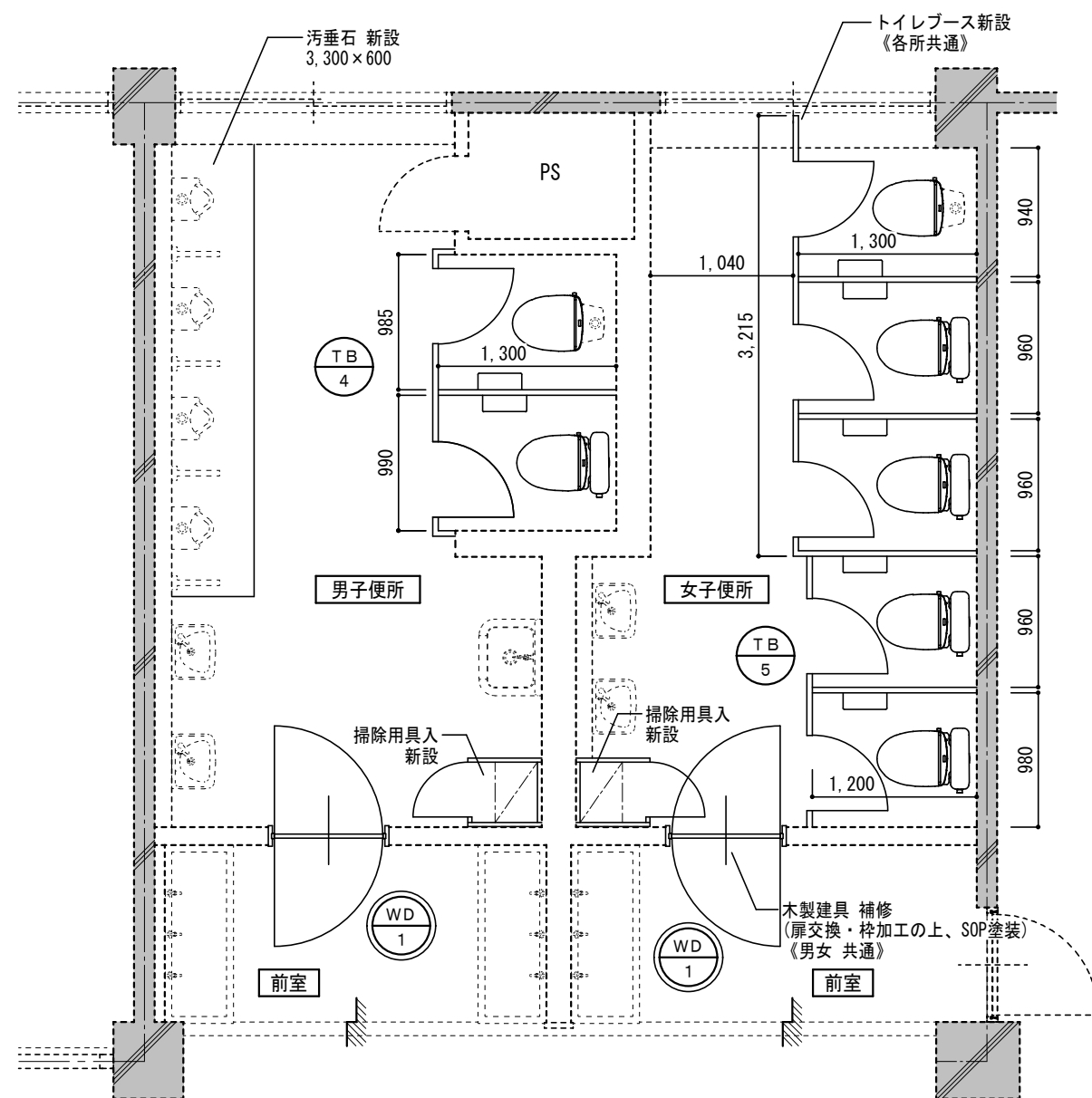


改修平面図 S=1/50

TITLE	NAME	SCALE			DATE	CHECK	DRAWING	NO.
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	教室棟1階トイレ 改修平面図	1/50						A-11 /
				株式会社 平設計	一級建築士事務所登録03-578号	一級建築士登録93620号	足立 收平	

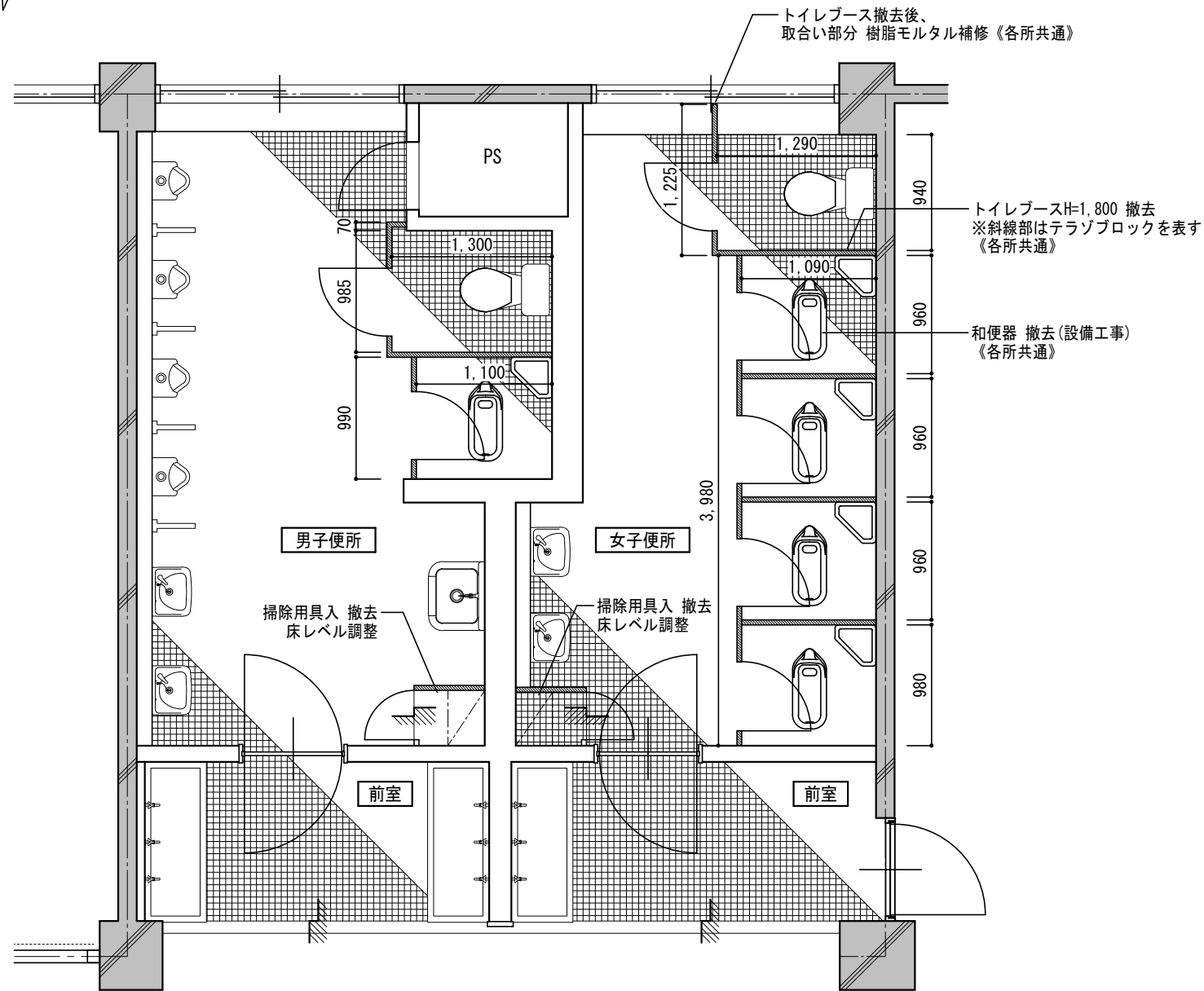
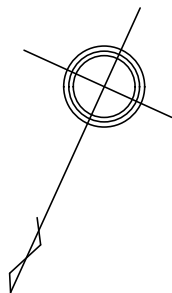


現況平面図 S=1/50

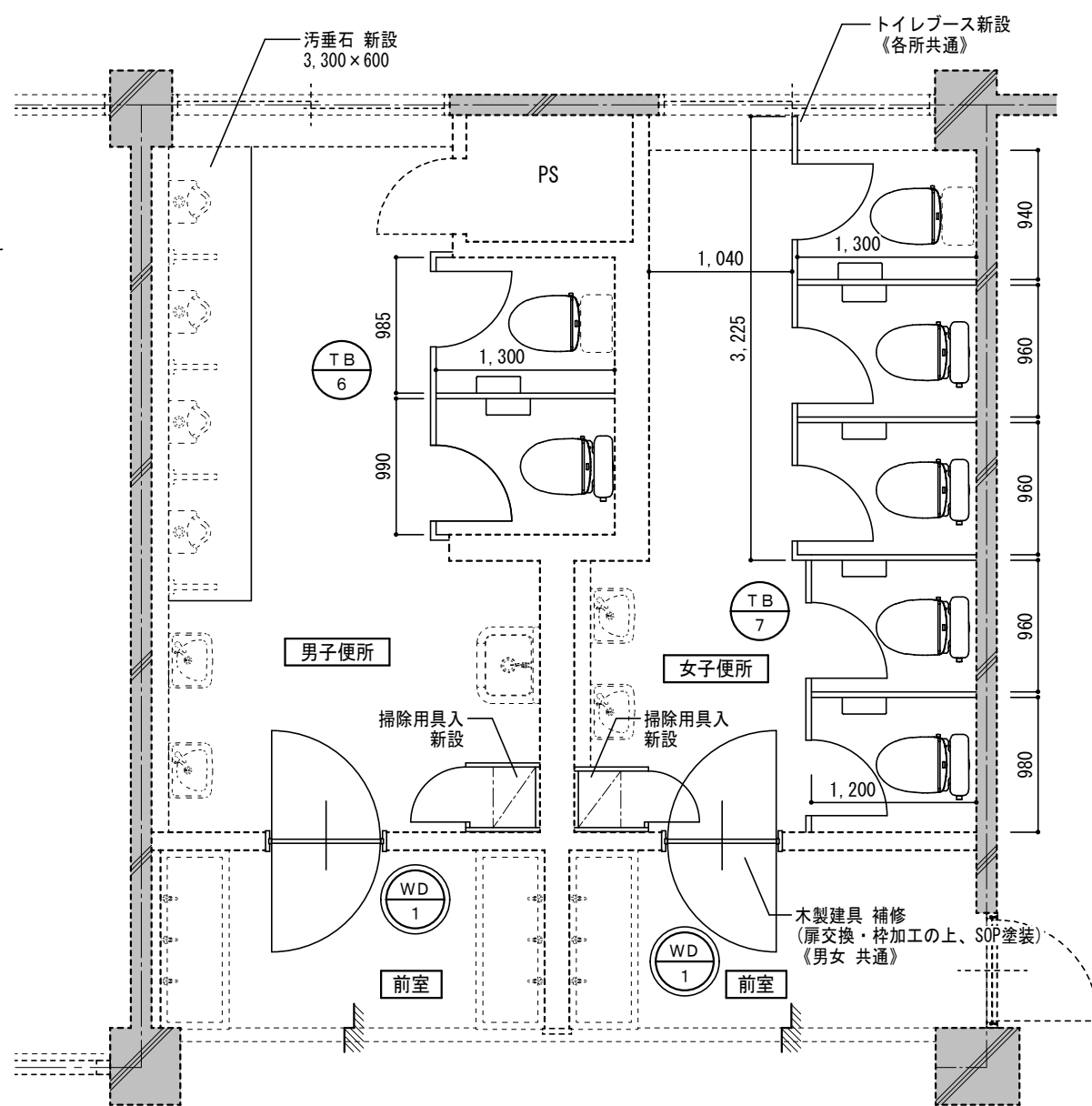


改修平面図 S=1/50

TITLE	NAME	SCALE			DATE	CHECK	DRAWING	NO.
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	教室棟2階トイレ 改修平面図	1/50						A-12 /
				株式会社 平設計				
				一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平				

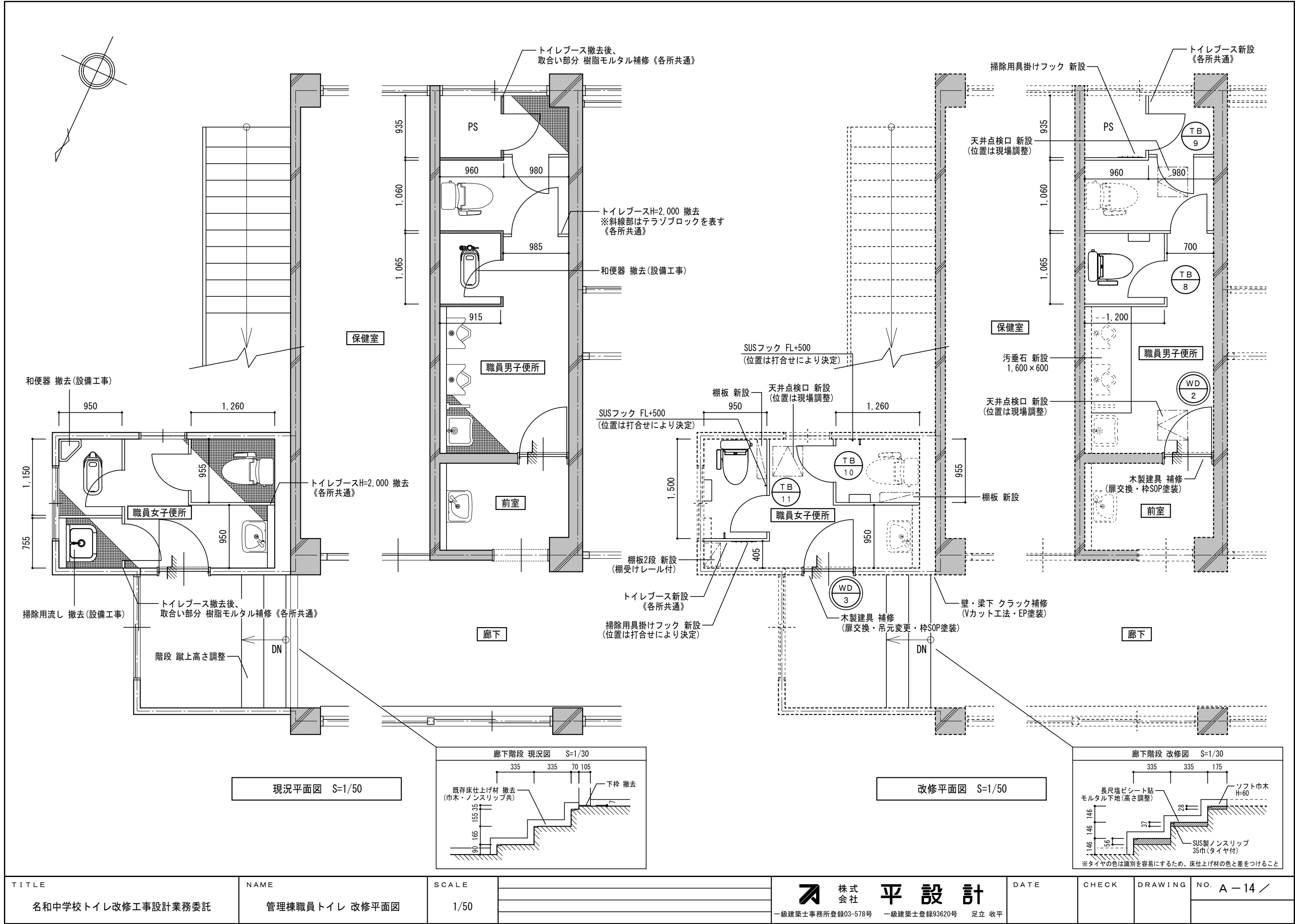


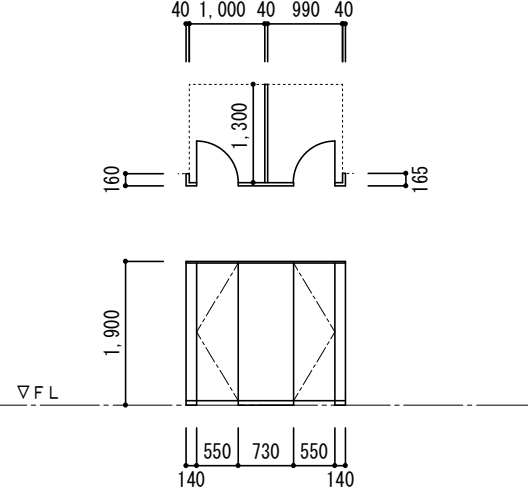
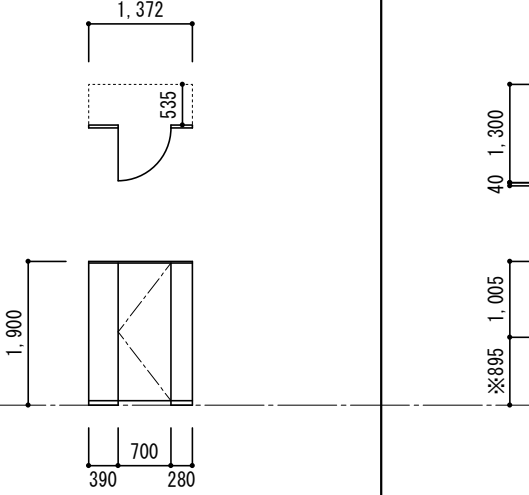
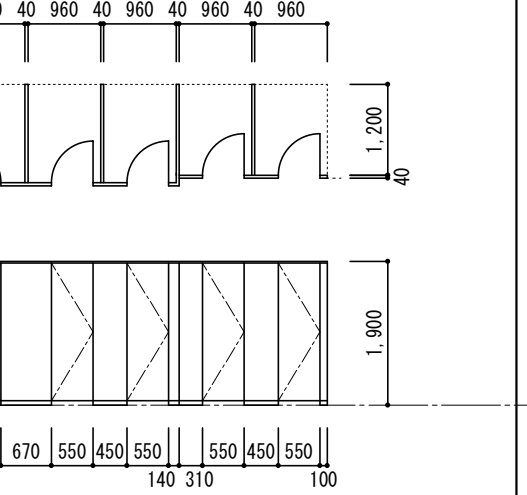
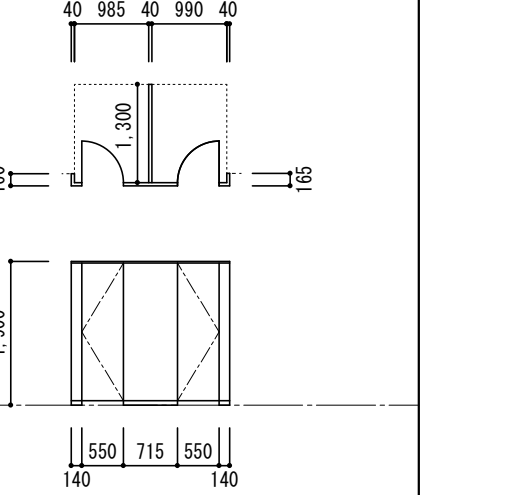
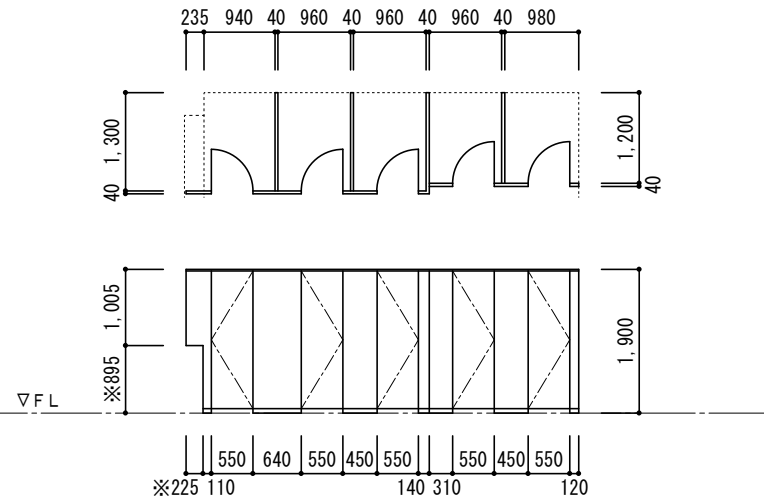
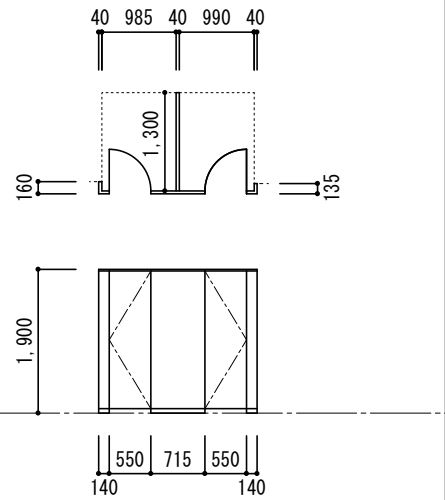
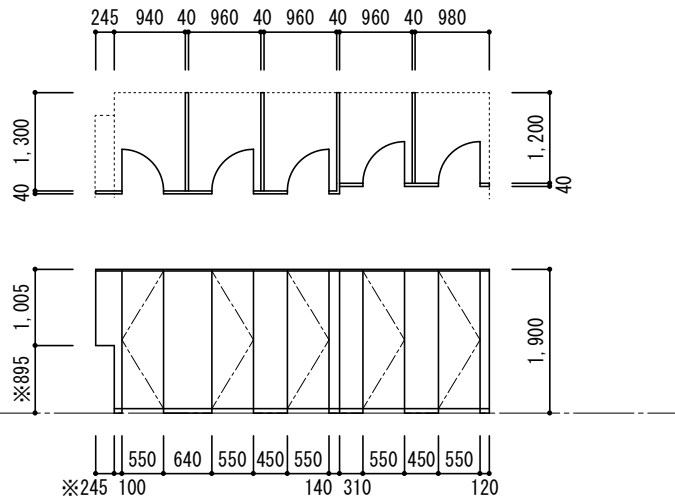
現況平面図 S=1/50

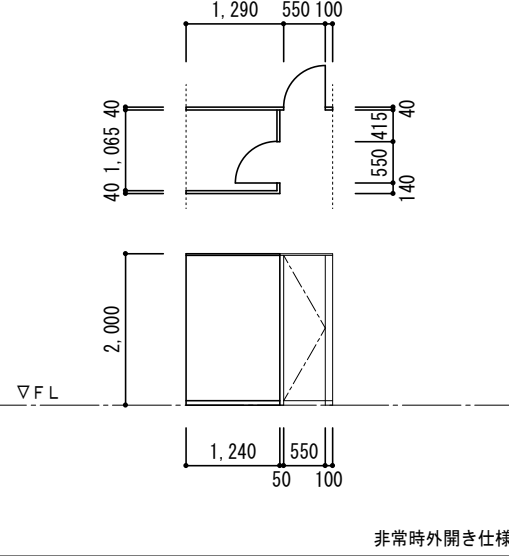
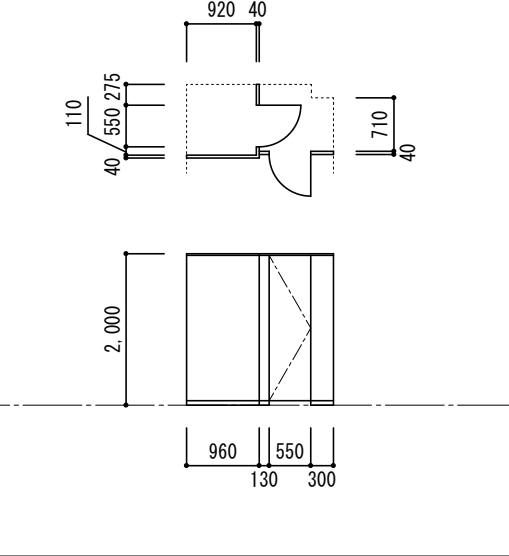
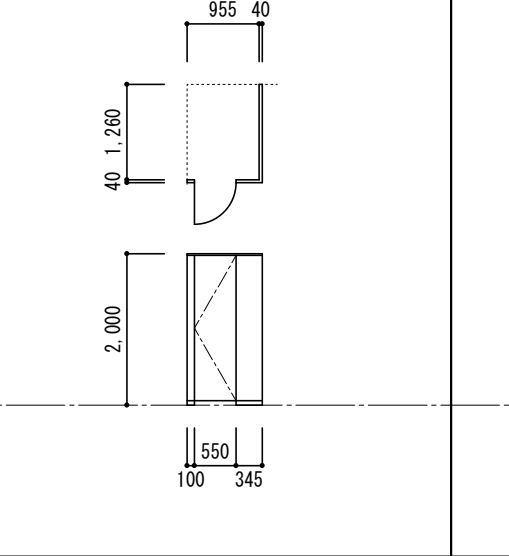
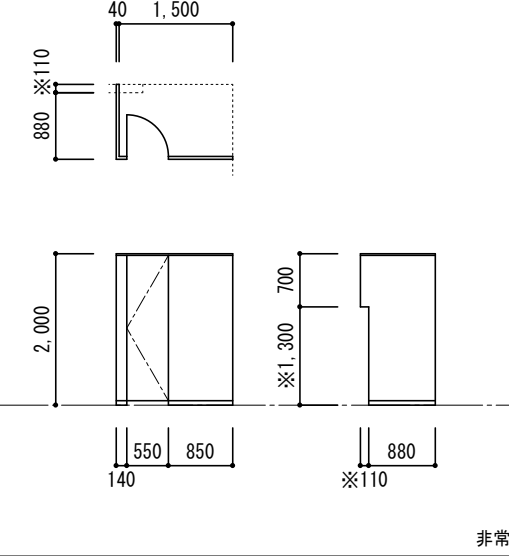
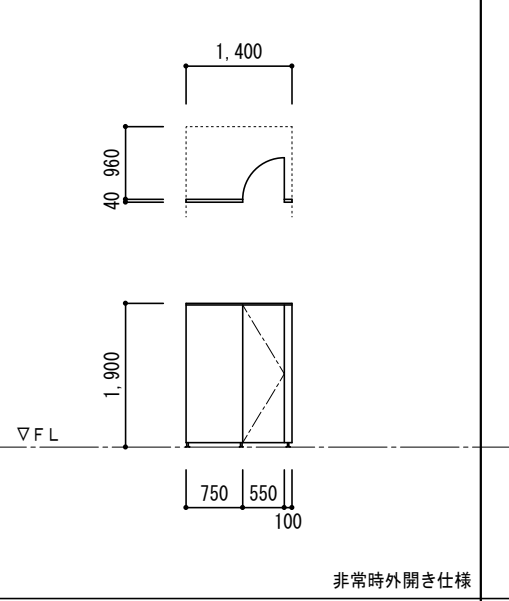
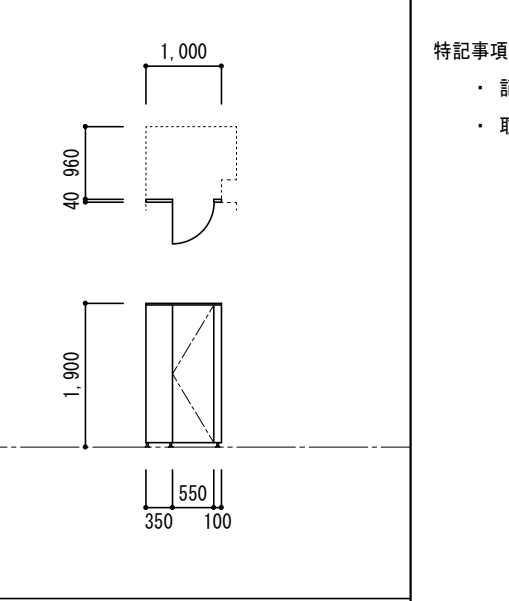


改修平面図 S=1/50

TITLE	NAME	SCALE			DATE	CHECK	DRAWING	NO.
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	教室棟3階トイレ 改修平面図	1/50						A-13 /
				株式会社 平設計	一級建築士事務所登録03-578号	一級建築士登録93620号	足立 收平	

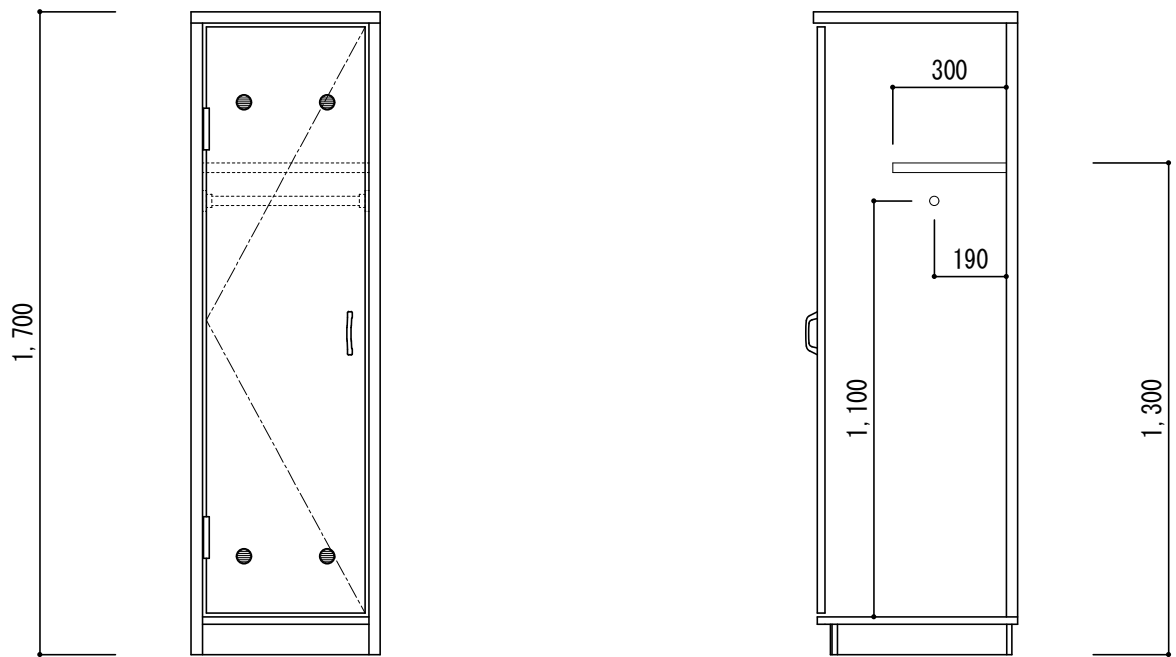
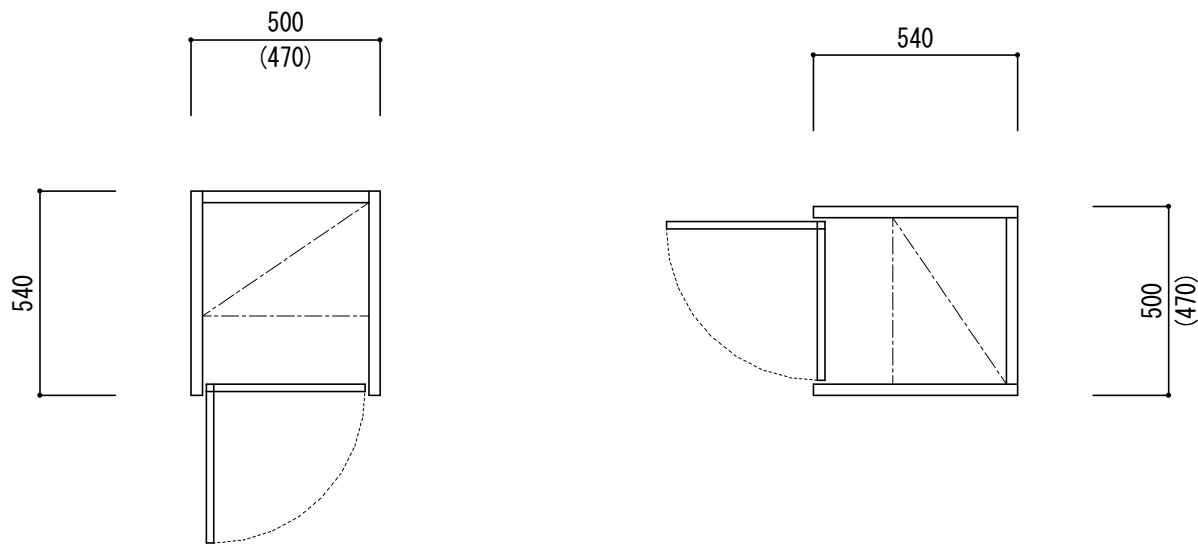


符号・数量	T B 1 トイレブース	1	T B 2 トイレブース	1	T B 3 トイレブース	1	T B 4 トイレブース	1	
形状・寸法	 非常時外開き仕様				 非常時外開き仕様		 非常時外開き仕様		
場 所	教室棟1階 男子便所		教室棟1階 男子便所		教室棟1階 女子便所		教室棟2階 男子便所		
材質・仕上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		
硝 子									
金 物	ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠 戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		ステンレス巾木、ステンレス笠木 その他付属金物一式		ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠、戸当り帽子掛け その他付属金物一式		ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠 戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		
備 考	COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		
符号・数量	T B 5 トイレブース	1	T B 6 トイレブース	1	T B 7 トイレブース	1			
形状・寸法	 非常時外開き仕様		 非常時外開き仕様		 非常時外開き仕様				
場 所	教室棟2階 女子便所		教室棟3階 男子便所		教室棟3階 女子便所				
材質・仕上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板				
硝 子									
金 物	ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠、戸当り帽子掛け、 その他付属金物一式		ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠 戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠、戸当り帽子掛け その他付属金物一式				
備 考	COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）				

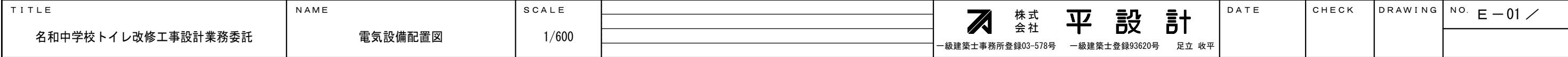
符号・数量	T B 8 トイレブース	1	T B 9 トイレブース	1	T B 10 トイレブース	1	T B 11 トイレブース	1	
形状・寸法									
場 所	管理棟 職員男子便所		管理棟 職員男子便所		管理棟 職員女子便所		管理棟 職員女子便所		
材質・仕上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		
硝 子									
金 物	ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠 戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		ステンレス巾木、ステンレス笠木 その他付属金物一式		ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠 戸当り帽子掛け(内側)、その他付属金物一式		ステンレス巾木、ステンレス笠木、表示錠、戸当り帽子掛け その他付属金物一式		
備 考	COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		
符号・数量	T B 12 トイレブース	1	T B 13 トイレブース	1	特記事項 - 記入寸法は概略寸法を示す。（施工図作成の上決定する） - 取付金物は見本品提出の上決定する。				
形状・寸法									
場 所	部室棟 男子便所		部室棟 女子便所						
材質・仕上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板						
硝 子									
金 物	ステンレス脚金物、ステンレス笠木、表示錠 戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		ステンレス脚金物、ステンレス笠木、表示錠 戸当り帽子掛け(内側)、その他付属金物一式						
備 考	COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）		COMANY 堅牢仕様パネル（同等品）						

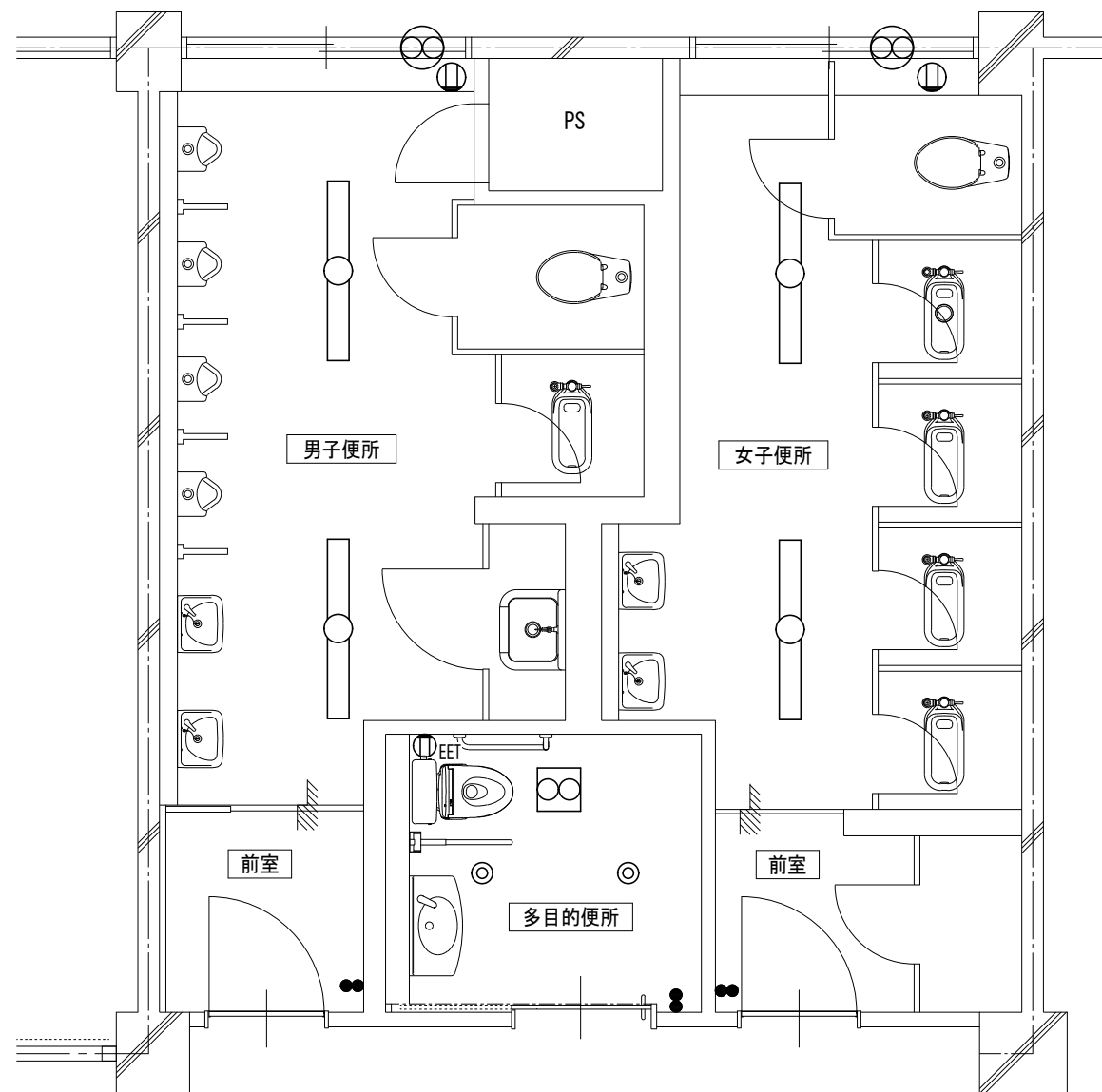
符号・数量	WD 1 スイングドア (改修) 4	WD 2 片開ドア (改修) 1	WD 3 片開ドア (改修) 1	AD 1 片開ドア (改修) 2	
形状・寸法	▽F L 80 1,875 20 790 扉交換 腐食部遣り替え (FL+150程) ※各寸法は参考程度とする	2,000 720 扉交換 ※各寸法は参考程度とする	※右吊元から左吊元に変更 1,980 40 350 750 扉交換 ※各寸法は参考程度とする	2,000 740 ※各寸法は参考程度とする	
場 所	教室棟 2～3 階 男子・女子便所	管理棟 職員男子便所	管理棟 職員女子便所	部室棟 男子・女子便所	
材質・仕上	メラミン化粧板 F	メラミン化粧板 F	メラミン化粧板 F	既存のまま	
硝 子	型ガラス 厚4	型ガラス 厚4	型ガラス 厚4	既存のまま	
金 物	ハンドプレート、丁番、空鍵、ガラリ その他付属金物一式	レバーハンドル、丁番、空鍵 その他付属金物一式	レバーハンドル、丁番、空鍵 その他付属金物一式	ドアチェック	
備 考	既設枠：補修の上、SOP塗装	既設枠：SOP塗装、アンダーカットH=10	既設枠：SOP塗装、アンダーカットH=10	ドアチェック交換	
符号・数量					
形状・寸法					
場 所					
材質・仕上					
硝 子					
金 物					
備 考					

※()は3階女子便所の寸法を表す。
男子便所は右吊元とする。

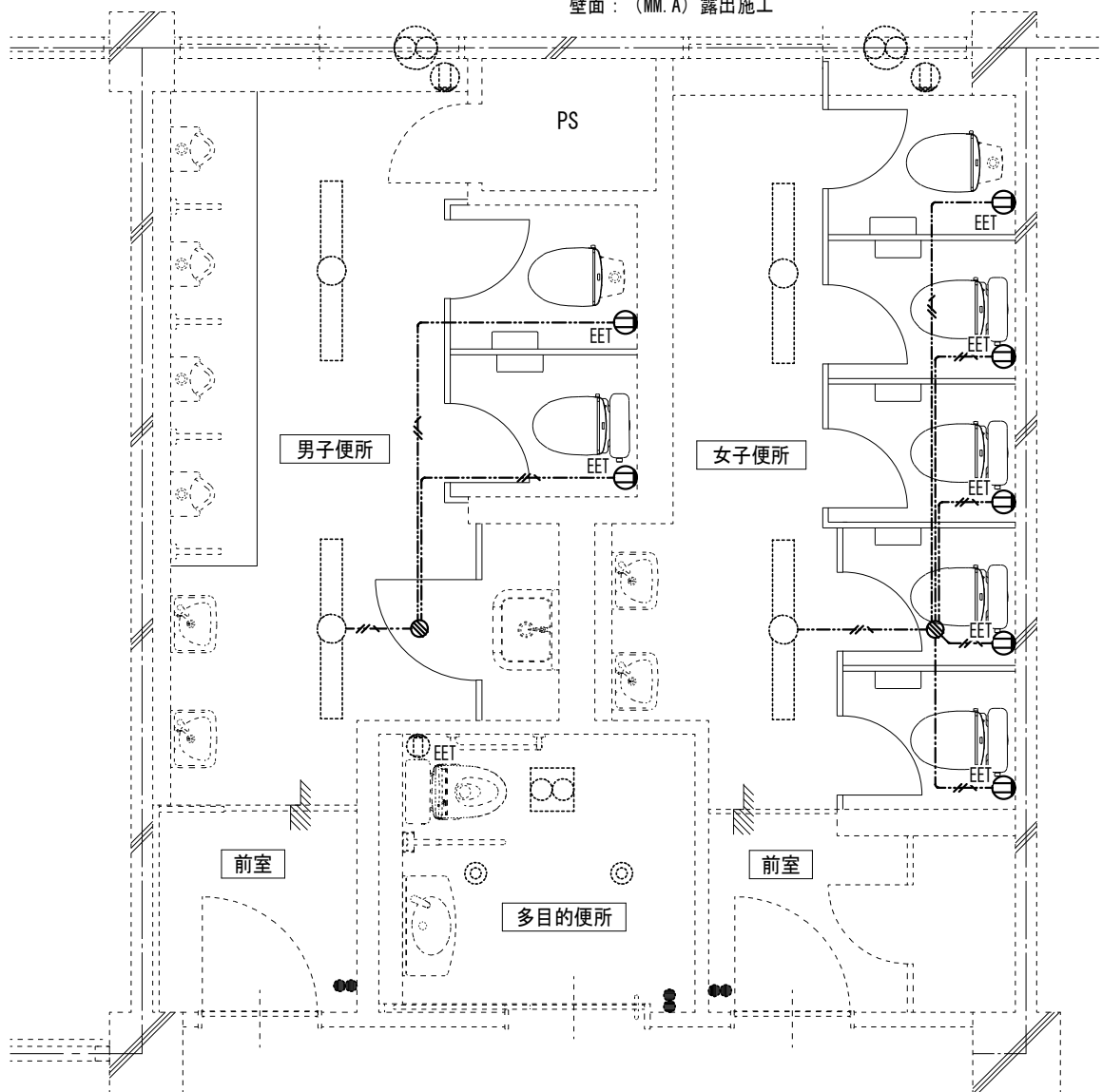


本体	メラミン化粧板 厚30
扉	メラミン化粧板 厚20
開戸把手	ステンレス製
通気口	ステンレス φ35
枕棚	メラミン化粧板 厚25 D=300
用具掛け	ステンレスパイプ φ25



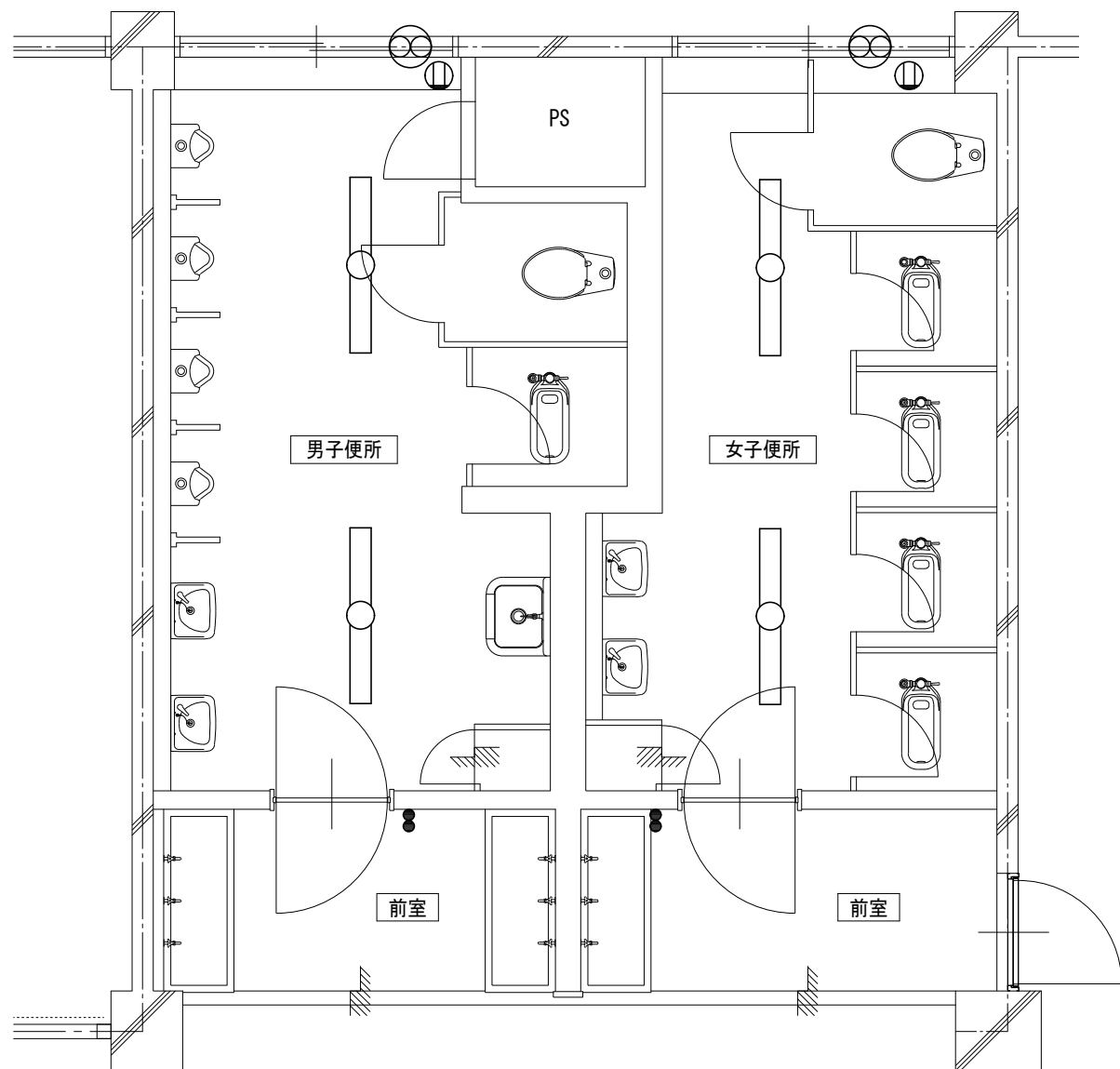
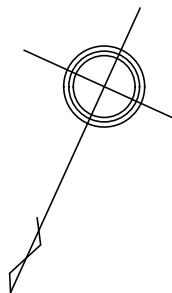


現況平面図 S=1/50

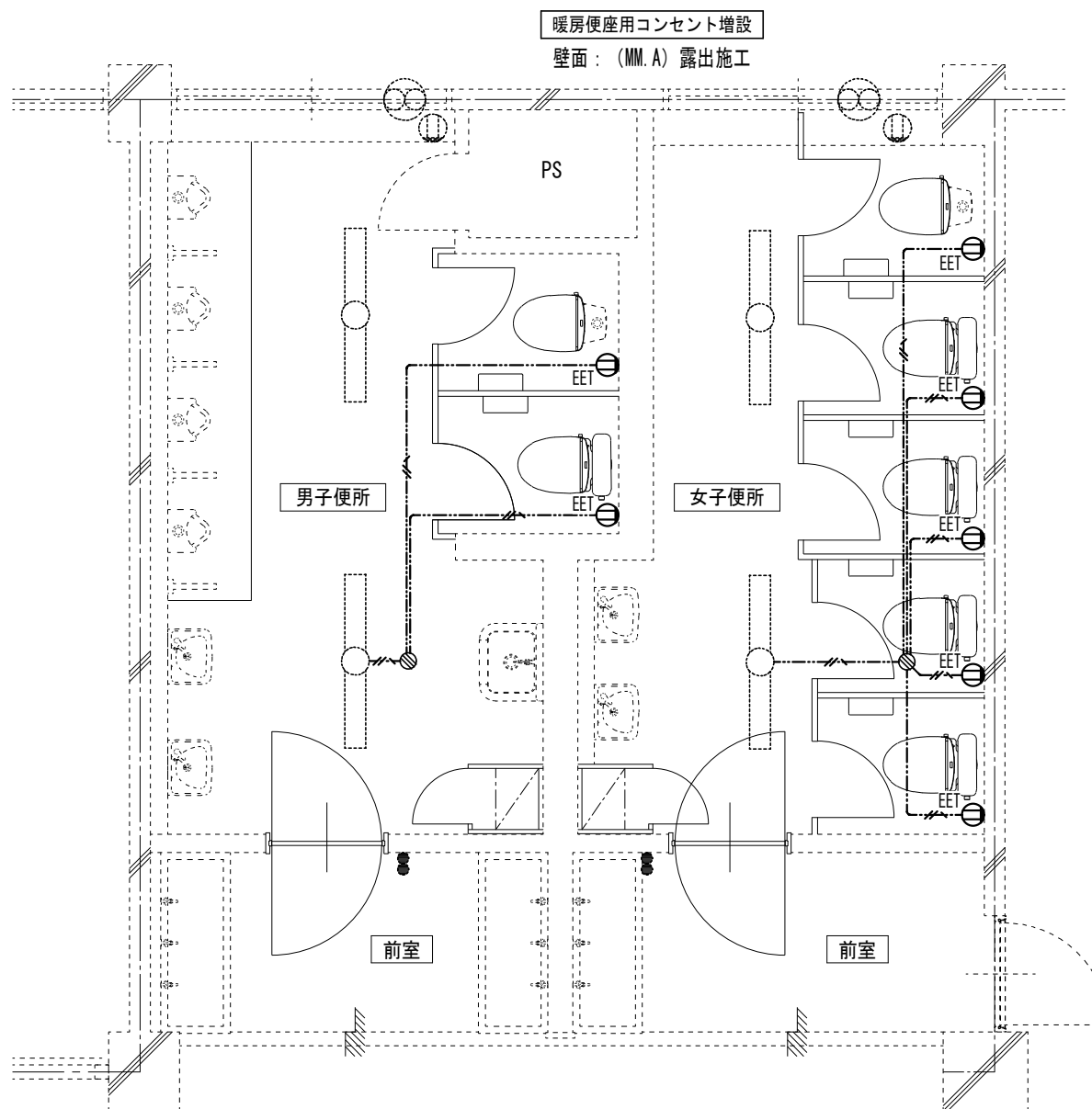


改修平面図 S=1/50

(特記事項)	
図中特記なき配線は下記による。	
	EM-EEF1.6-3C 10-E



現況平面図 S=1/50



改修平面図 S=1/50

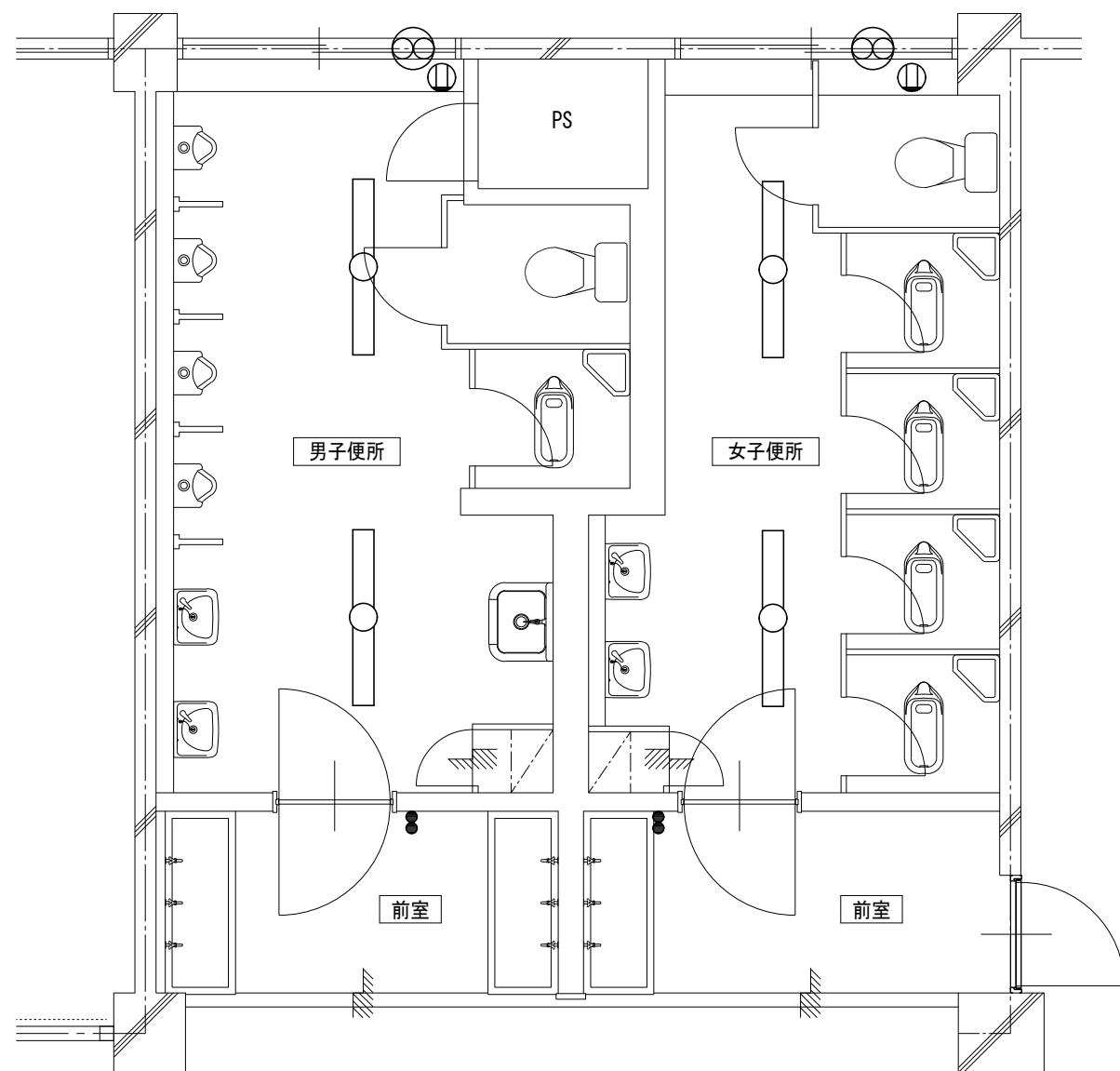
(特記事項)	
図中特記なき配線は下記による。	
---	EM-EEF1.6-3C 1C=E

TITLE	NAME	SCALE			DATE	CHECK	DRAWING	NO.
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	教室棟2階トイレ 電気設備平面図	1/50						E-03 /

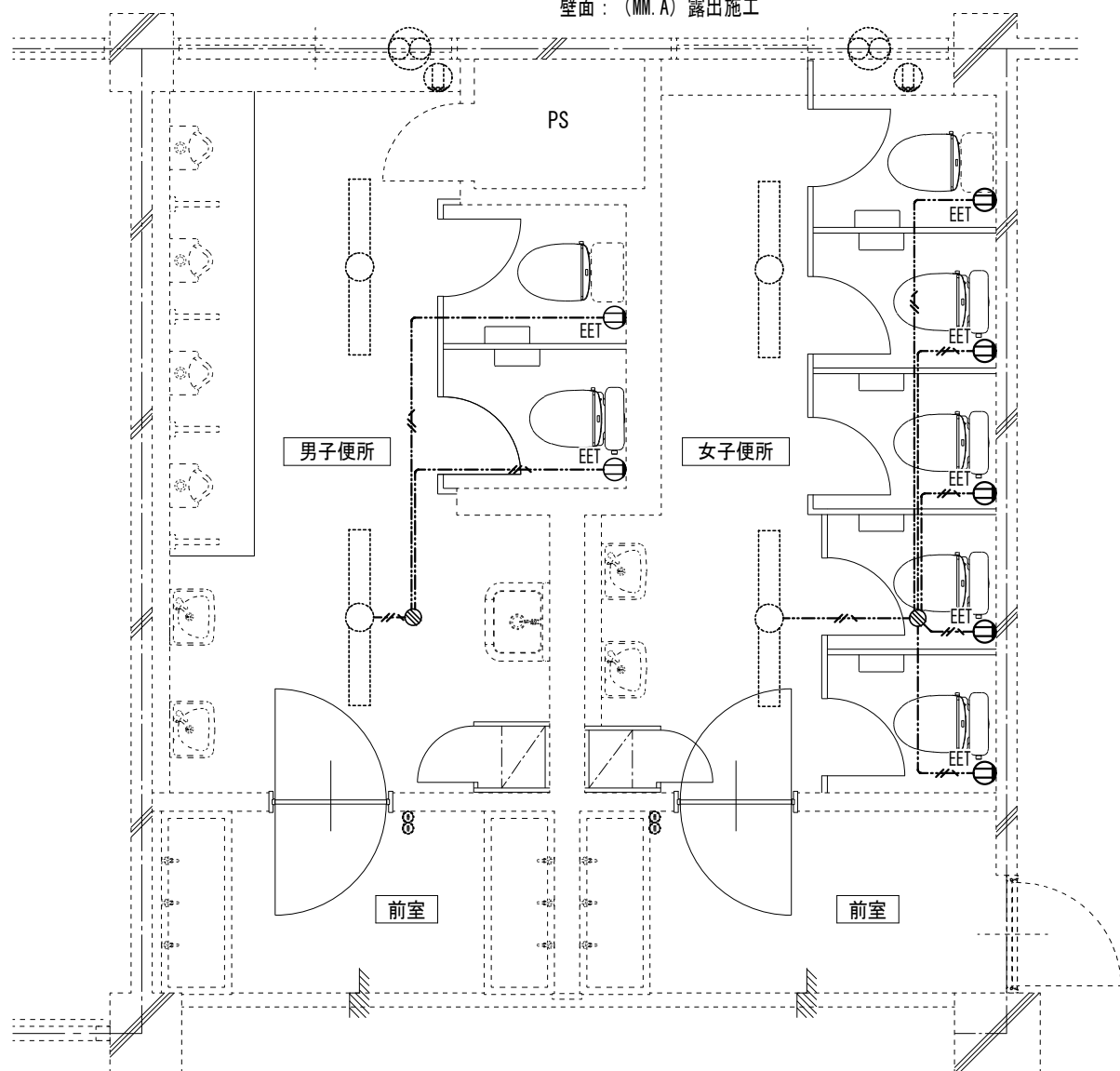


株式会社
平設計

一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平



現況平面図 S=1/50



改修平面図 S=1/50

(特記事項)

図中特記なき配線は下記による。

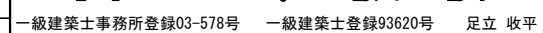
---//\---	EM-EEF1.6-3C 1C=E

T I T L E
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託

NAME

教室棟3階トイレ 電気設備平面図

SCALE	
1/50	

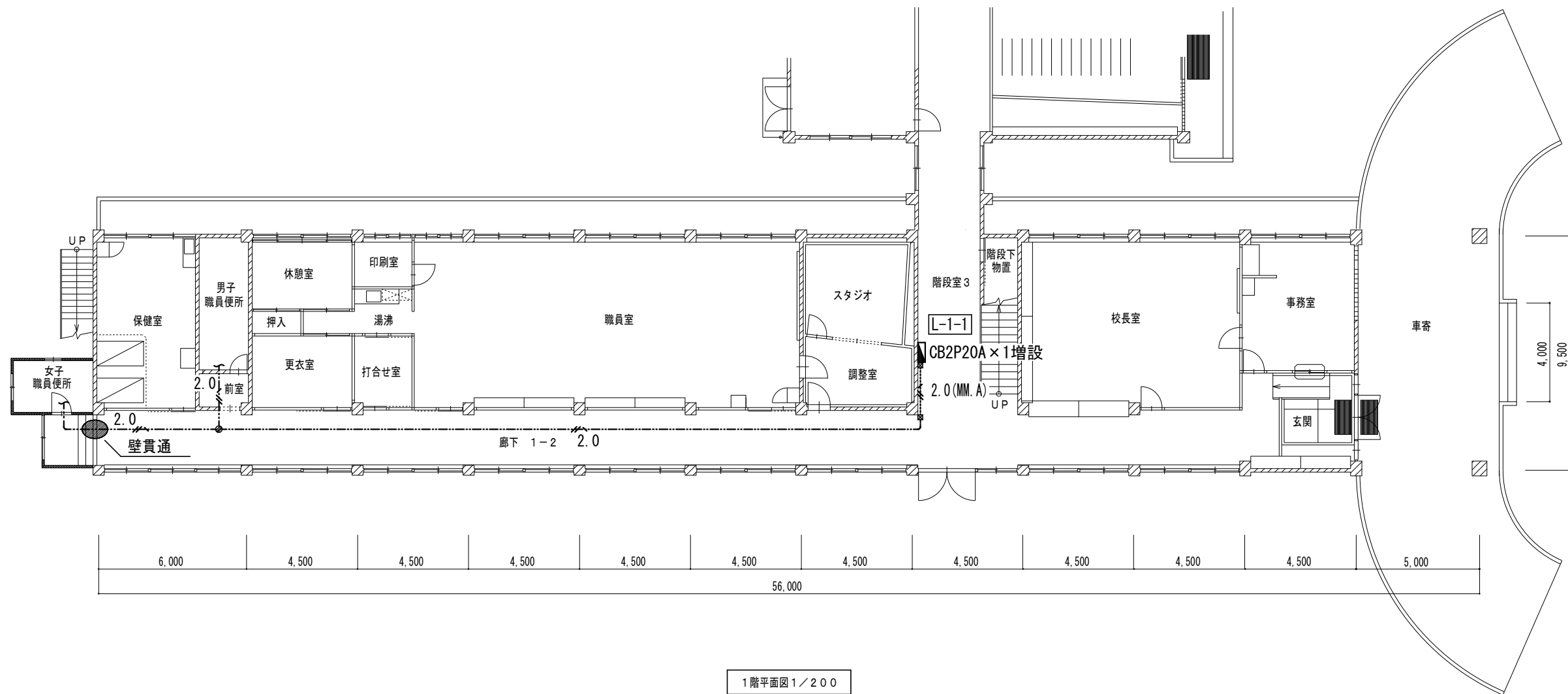


DATE	CHECK	DRAWING	NO. E-04 /

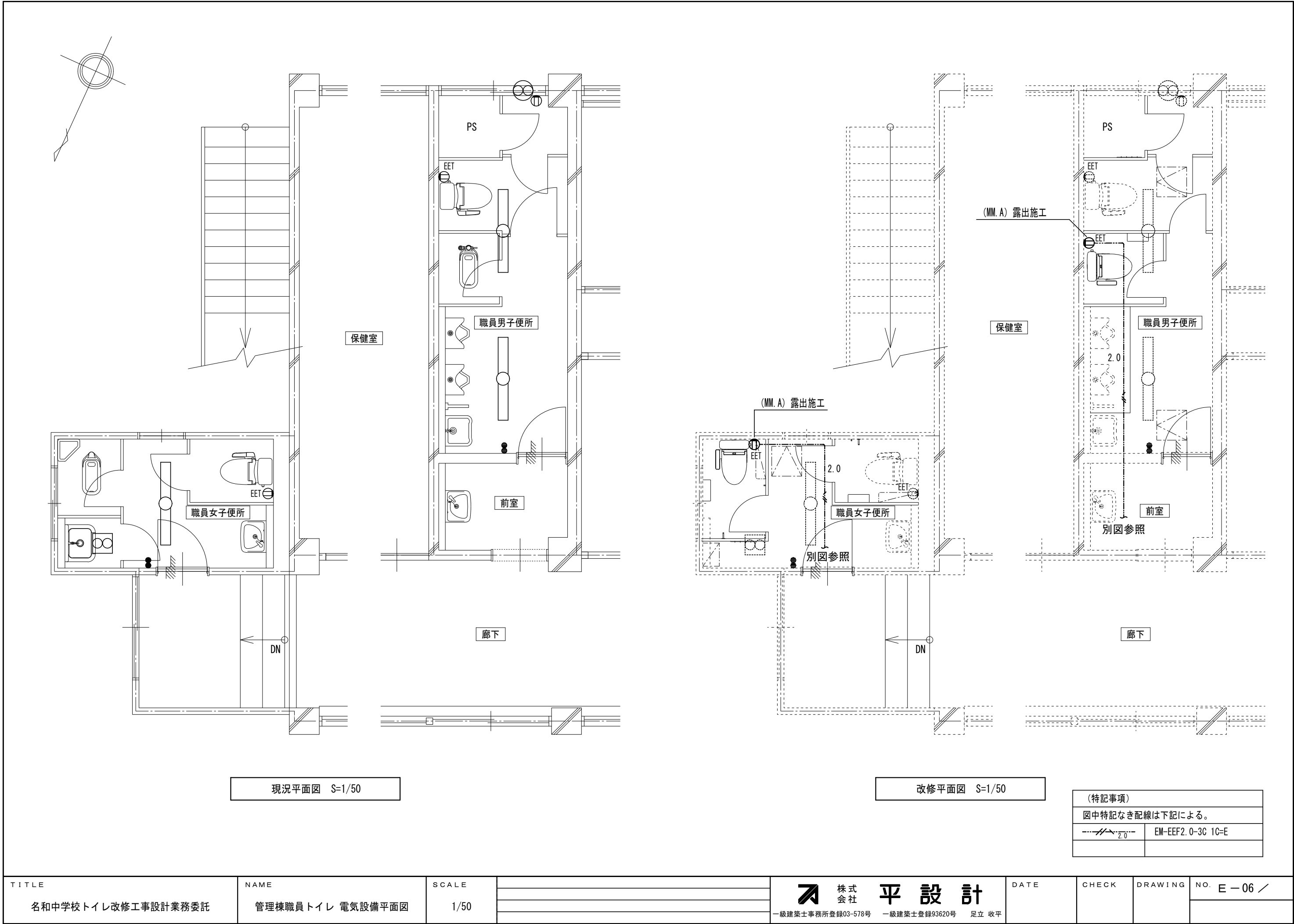
CHECK	DRAWING	NO. E - 04 /

DRAWING	NO. E-04 /

G	NO. E-04 /

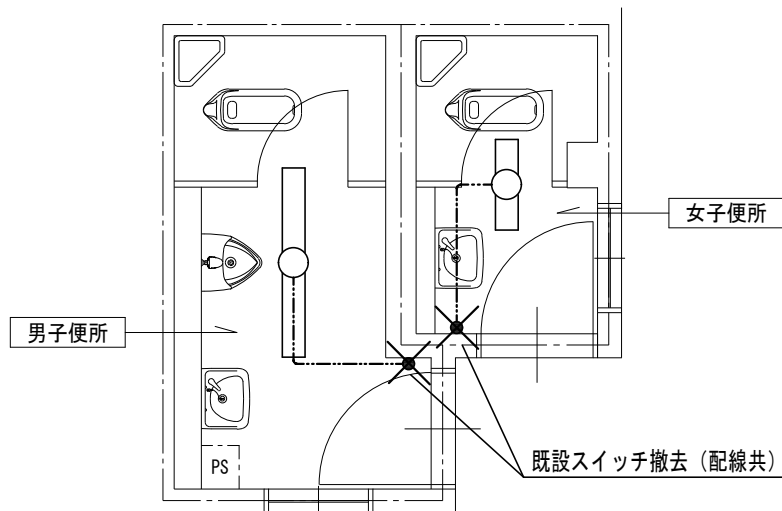
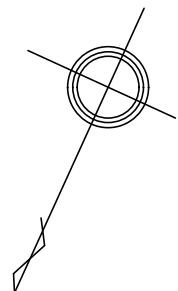


(特記事項)	
図中特記なき配線は下記による。	
	EM-EEF2.0-3C 1C=E
	EM-EEF2.0-3C 1C=E (MM-A)

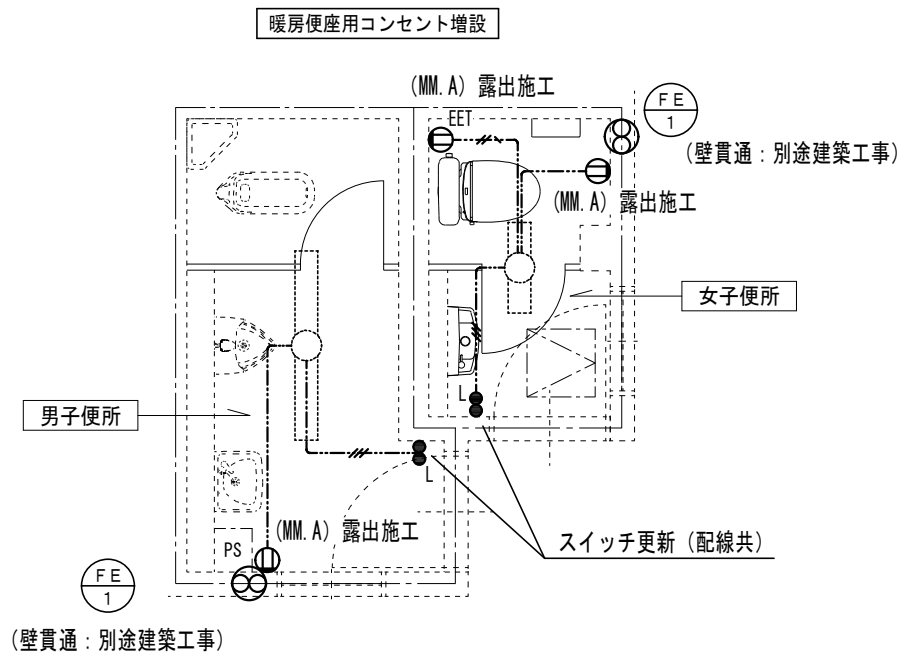


(特記事項)	
図中特記なき配線は下記による。	
---//--- 2.0 ---	EM-EEF2. 0-3C 1C=E

TITLE 名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	NAME 管理棟職員トイレ 電気設備平面図	SCALE 1/50		 株式会社 平設計 一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平	DATE	CHECK	DRAWING	NO. E-06 /



現況平面図 S=1/50



改修平面図 S=1/50

機器リスト						
記号	機器名	仕様	電源			台数
			相	V	kW	
FE 1	パイプファン (参考品番：FY-08DE9)	形式：格子ルーバー付パイプファン・ダクト径：φ100	1	100	2.4W (消費)	2
		風量：50m3/h				
		付属品：屋外パイプフード (SUS)				

(特記事項)	
図中特記なき配線は下記による。	
---	EM-EEF1.6-3C
---	EM-EEF1.6-3C 1C=E

～特記仕様～

- ・和風便器撤去（カット）・排便管取付け・床埋め戻しは、和洋リモデル工法 又は 和洋改修工法による。
- ・衛生器具類・アクセサリー類の撤去工事は設備工事範囲とする。
- ・衛生器具類・アクセサリー類の据付け接続（配管改修を含む）は設備工事範囲とする。
- ・腰掛便器給水口への配管は既存給水口へ接続し露出にて芯合せを行う。
その際の使用材料は塩ビライニング鋼管又は架橋ポリエチレン管とする。
- ・工事中の発生材処分は元請工事範囲とする。
- ・はつり、解体・撤去に伴う補修工事は建築工事範囲とする。
- ・床排水トラップ・金物及び掃除口の嵩上げ・閉止作業は設備工事範囲とする。

教室棟 1 階男子トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C750VF・FV式）・スペア付紙巻器	1 組
	スペア付紙巻器・普通便座	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, THF36	1 組
	暖房便座（大形・普通兼用タイプ） TCF116	2 組
	棚付二連紙巻器 YH650	2 組

教室棟 2 階男子トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C750VF・FV式）・スペア付紙巻器	1 組
	スペア付紙巻器・普通便座	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, THF36	1 組
	暖房便座（大形・普通兼用タイプ） TCF116	2 組
	棚付二連紙巻器 YH650	2 組

教室棟 3 階男子トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C750VF・ロータンク式）・スペア付紙巻器	1 組
	スペア付紙巻器・普通便座	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, THF36	1 組
	暖房便座（大形・普通兼用タイプ） TCF116	2 組
	棚付二連紙巻器 YH650	2 組

教室棟 1 階女子トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C750VC・FV式）・スペア付紙巻器	1 組
	和便器（C750VF・FV式）・スペア付紙巻器	3 組
	スペア付紙巻器・普通便座	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, THF36	4 組
	暖房便座（大形・普通兼用タイプ） TCF116	5 組
	棚付二連紙巻器 YH650	5 組

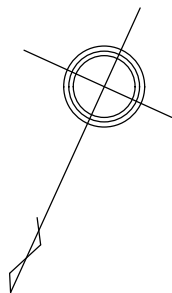
教室棟 2 階女子トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C750VF・FV式）・スペア付紙巻器	4 組
	スペア付紙巻器・普通便座	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, THF36	4 組
	暖房便座（大形・普通兼用タイプ） TCF116	5 組
	棚付二連紙巻器 YH650	5 組

教室棟 3 階女子トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C750VF・ロータンク式）・スペア付紙巻器	4 組
	スペア付紙巻器・普通便座	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, THF36	4 組
	暖房便座（大形・普通兼用タイプ） TCF116	5 組
	棚付二連紙巻器 YH650	5 組

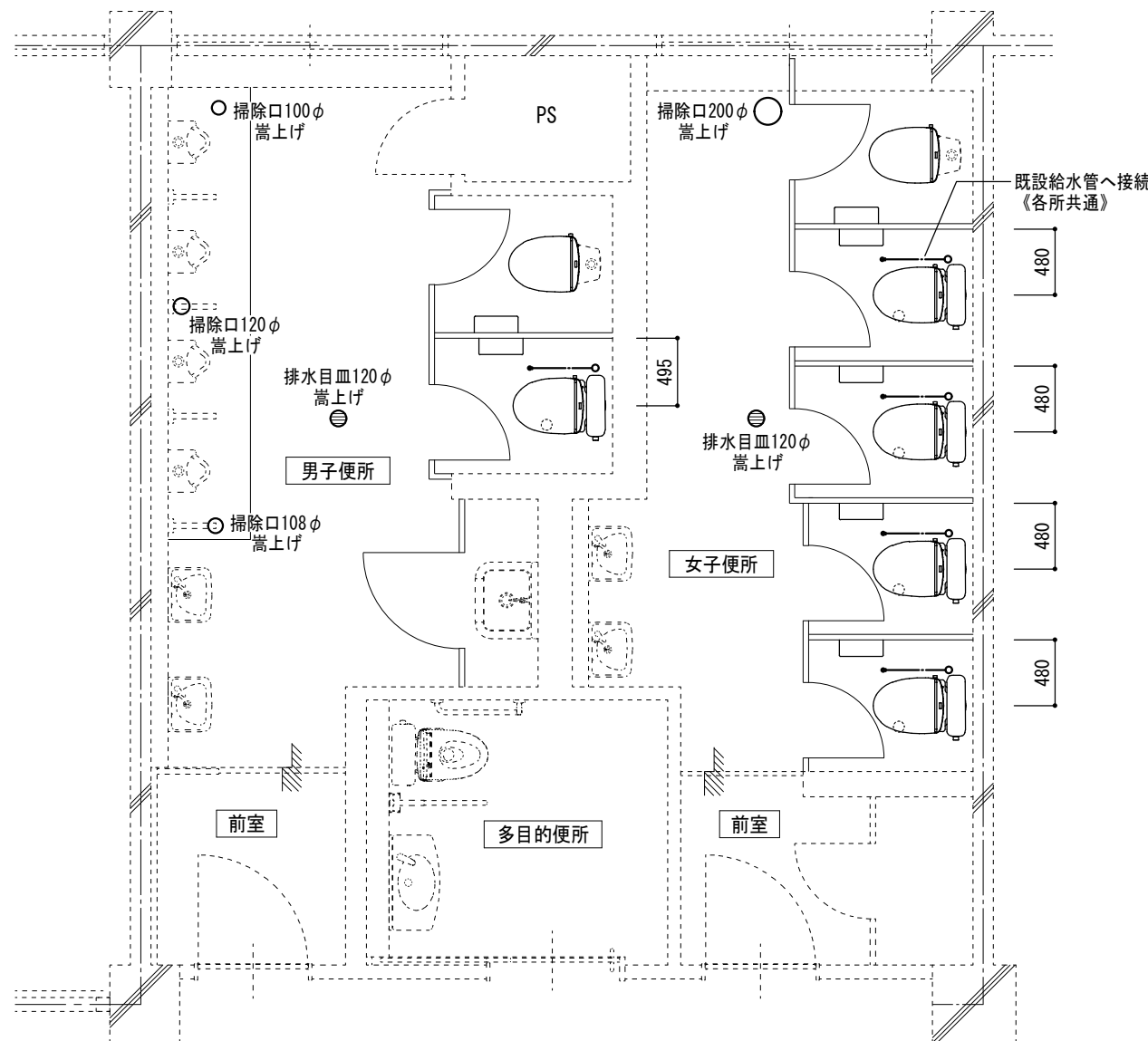
管理棟男子職員トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C375AV・ロータンク式）・スペア付紙巻器	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, THF36	1 組
	温水洗浄便座 TCF5514（便器洗浄なし・擬音装置付 消費電力314W）	1 組
	棚付二連紙巻器 YH650	1 組

管理棟女子職員トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C375AV・ロータンク式）・スペア付紙巻器	1 組
	掃除用流し（SK322・T23AEQ20・T37SGEP）	1 組
	紙巻器	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, TS220FU2	1 組
	温水洗浄便座 TCF5514（便器洗浄なし・擬音装置付 消費電力314W）	1 組
	棚付二連紙巻器 YH650	2 組
	シングルフック YKH20R（ステンレス製 50×86×50）	2 組

部室棟女子トイレ 衛生器具リスト		
【撤 去】	品 名	数 量
	和便器（C750V・ロータンク式）・紙巻器	1 組
	壁付手洗器（L230相当／壁給水550H・壁排水25φ500H）	1 組
【改修後】	品 名（参考品番）	数 量
	掃除口付腰掛便器 CFS498BMC, 床用フアンジ [®] φ75, TS220FU2	1 組
	暖房便座（大形・普通兼用タイプ） TCF116	1 組
	棚付二連紙巻器 YH650	1 組
	コンパクト手洗器 LSK870BSMFR	1 組

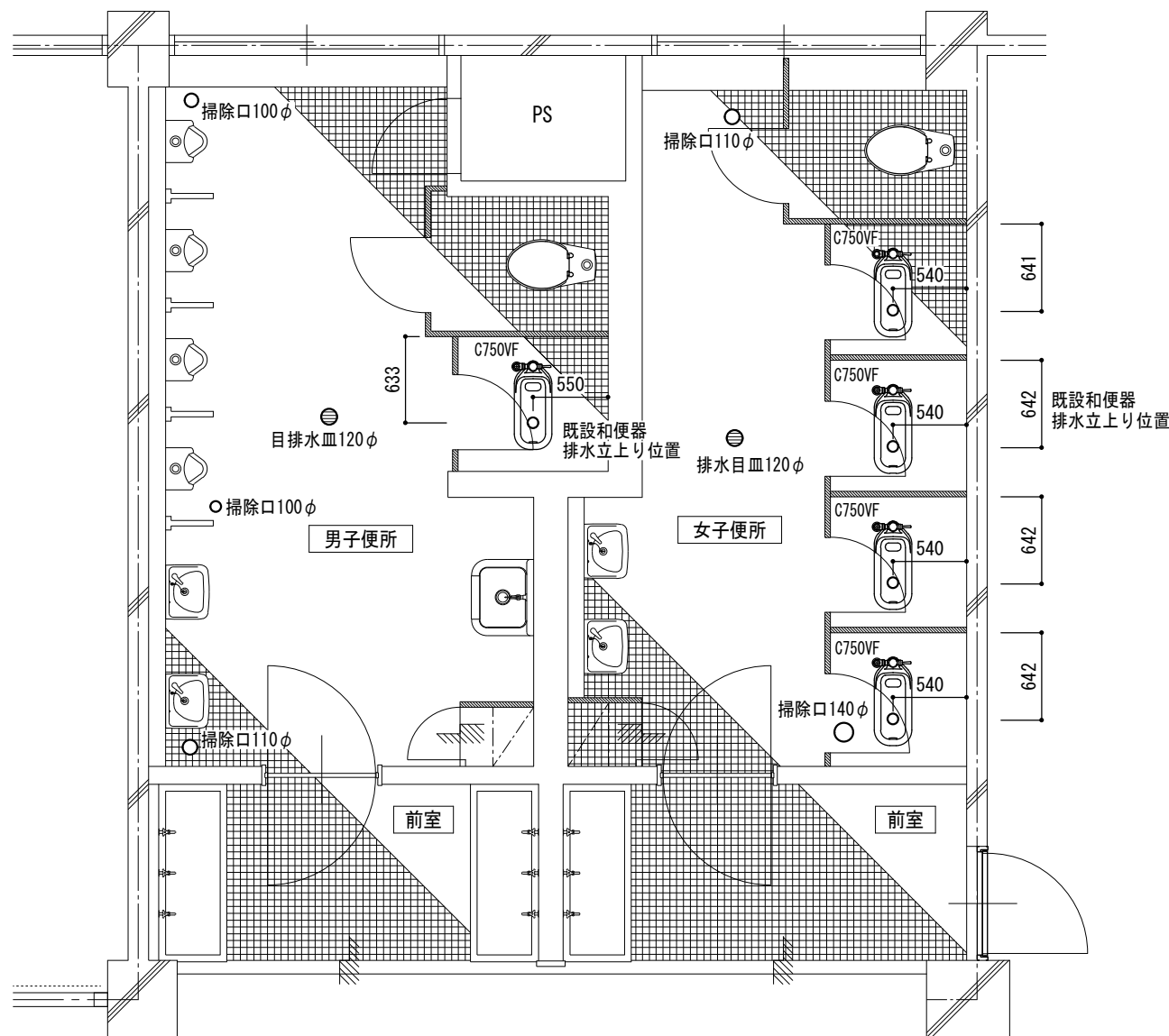
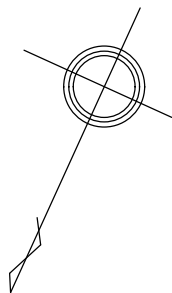


現況平面図 S=1/50

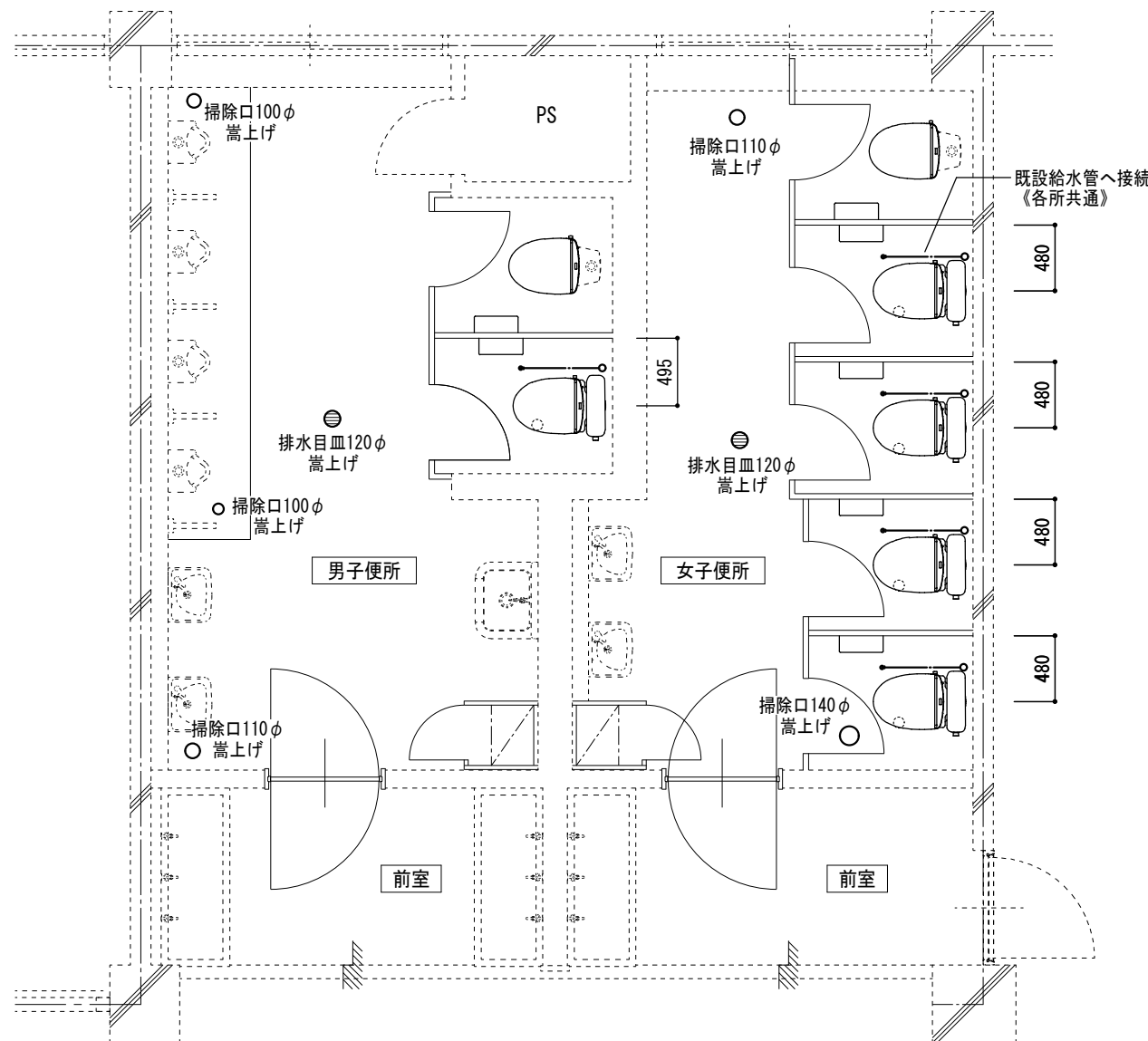


改修平面図 S=1/50

TITLE	NAME	SCALE		 株式会社 平設計 一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平	DATE	CHECK	DRAWING	NO. M-02 /
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	教室棟1階トイレ 衛生設備改修図	1/50						

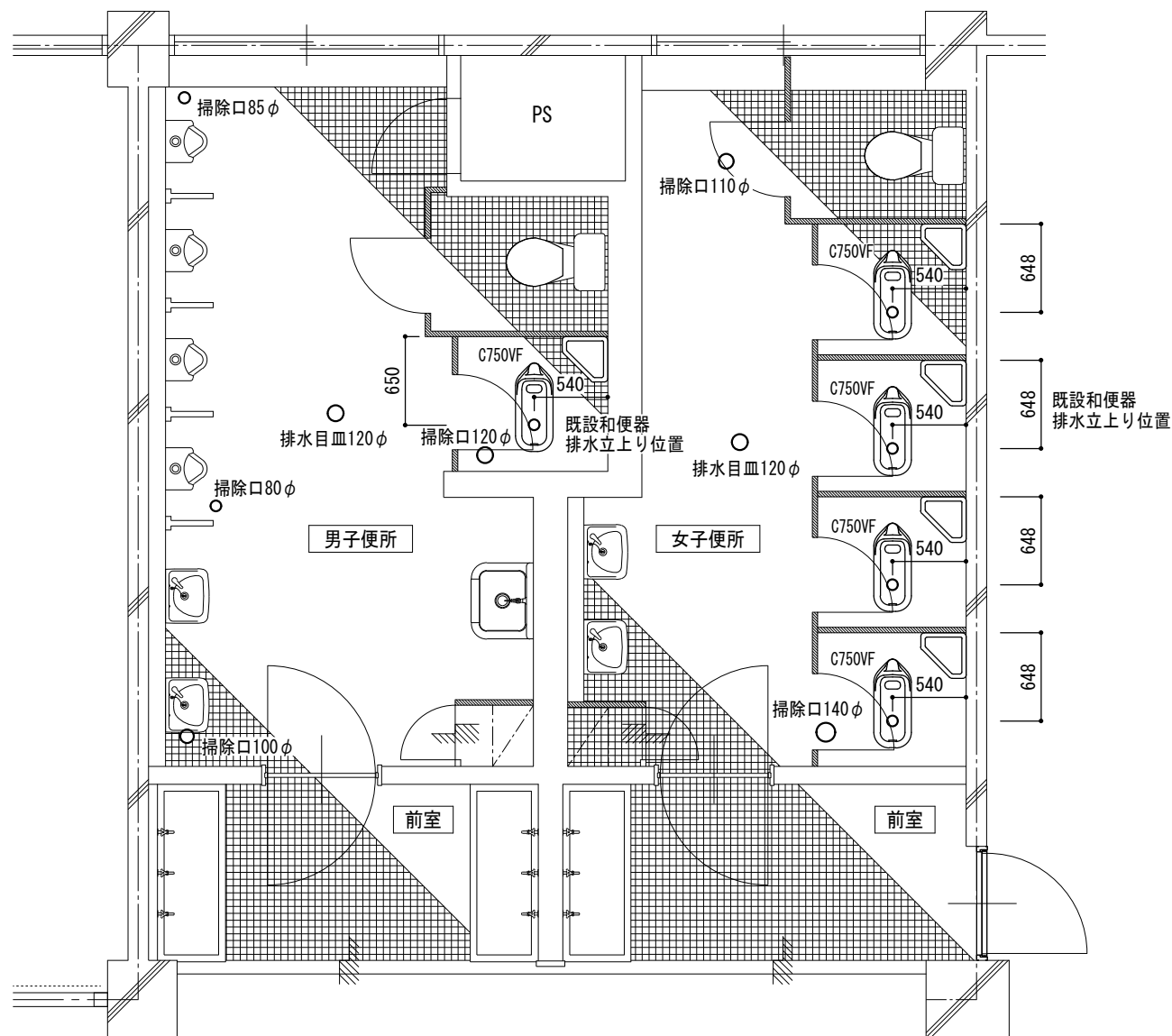
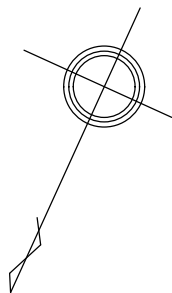


現況平面図 S=1/50

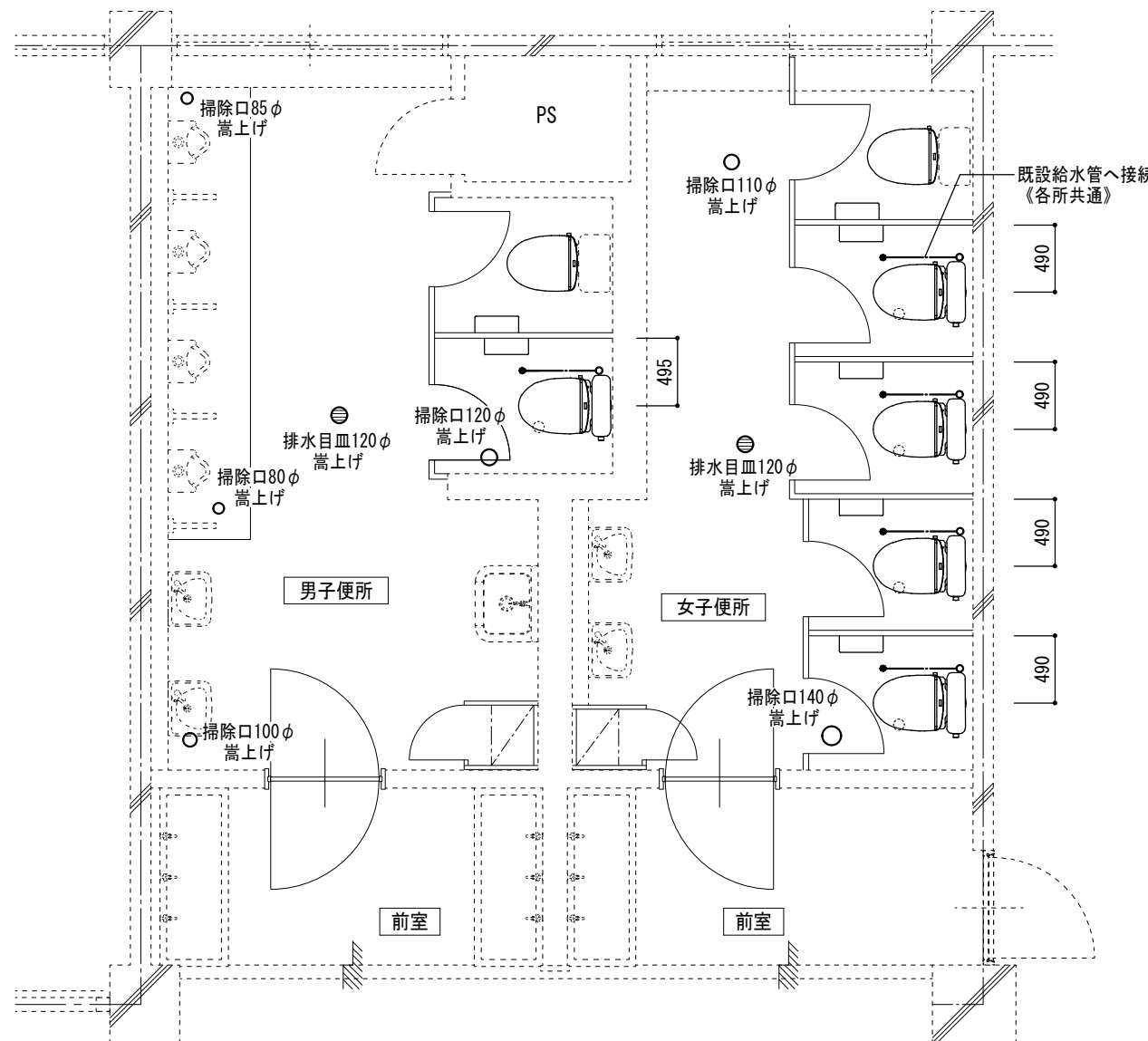


改修平面図 S=1/50

TITLE	NAME	SCALE		 株式会社 平設計 一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平	DATE	CHECK	DRAWING	NO. M-03 /
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	教室棟2階トイレ 衛生設備改修図	1/50						

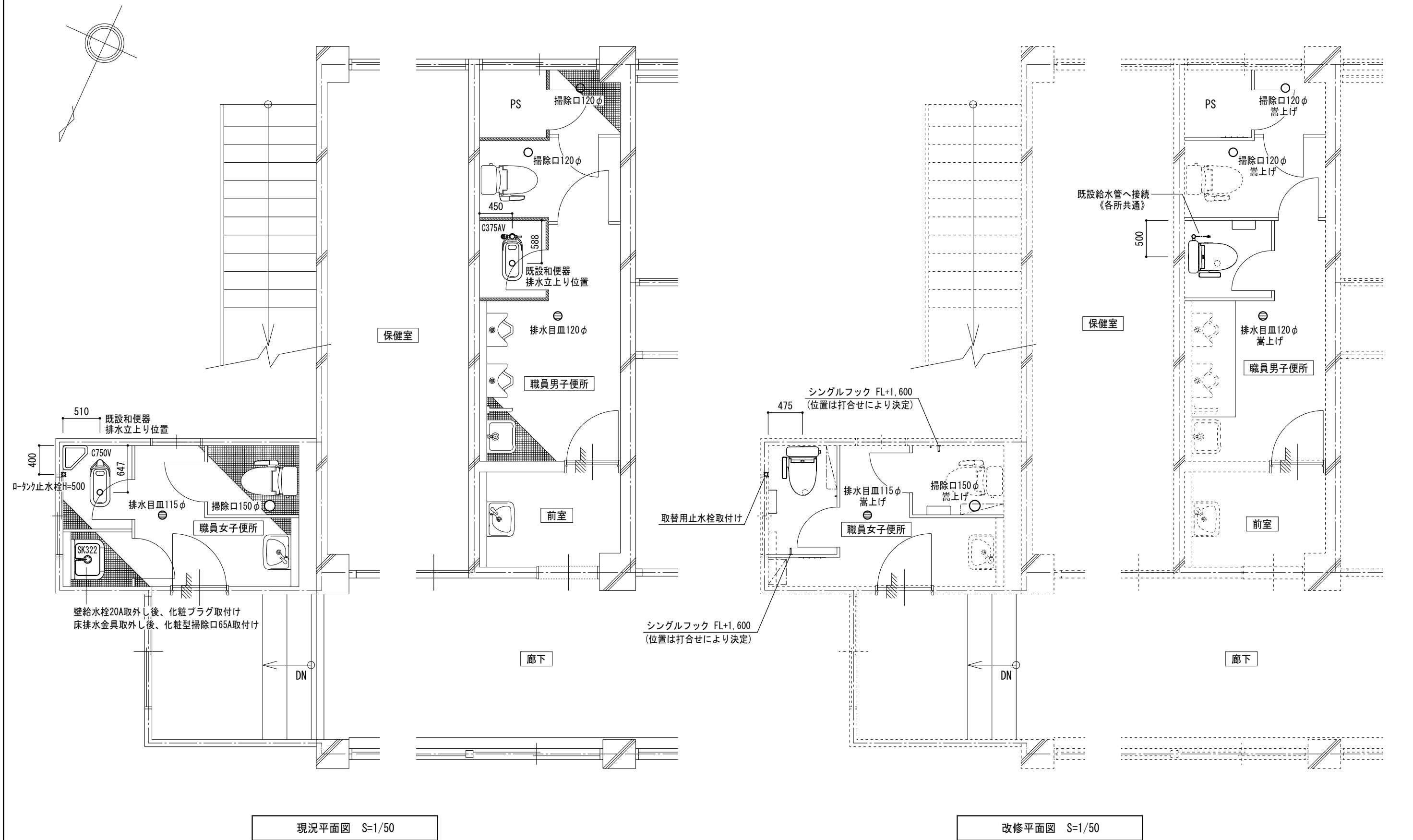


現況平面図 S=1/50

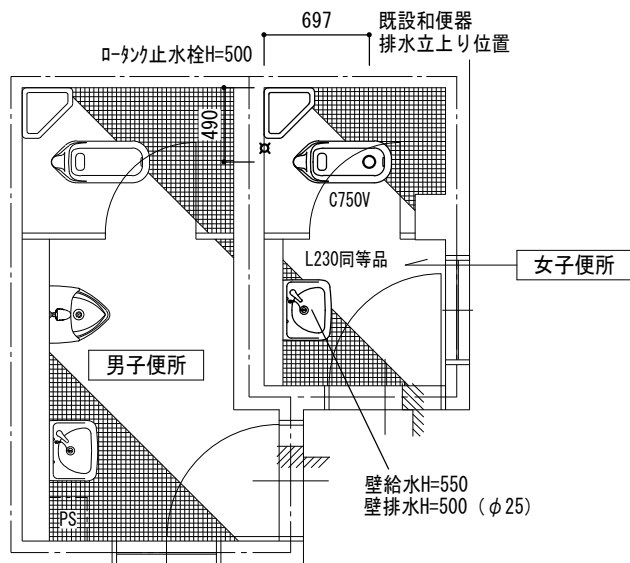
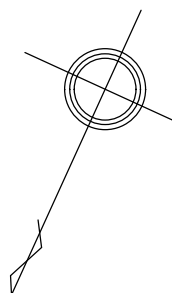


改修平面図 S=1/50

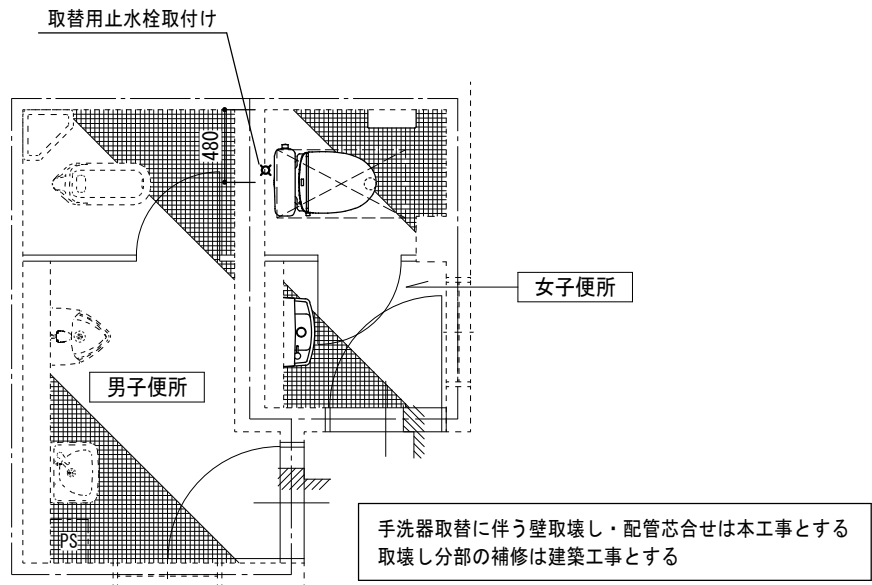
TITLE	NAME	SCALE		 株式会社 平設計 一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平	DATE	CHECK	DRAWING	NO. M-04 /
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	教室棟3階トイレ 衛生設備改修図	1/50						



TITLE	NAME	SCALE	株式会社 平設計		DATE	CHECK	DRAWING	NO. M-05 /
名和中学校トイレ改修工事設計業務委託	管理棟職員トイレ 衛生設備改修図	1/50	一級建築士事務所登録03-578号 一級建築士登録93620号 足立 收平					



現況平面図 S=1/50



改修平面図 S=1/50